

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	公設地方卸売市場事業特別会計繰出金			事業コード	210605						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進		施策コード	831						
事業担当	所属	08020000 財務部 財政課		所属長	蘆田 祐幸						
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	174	頁
計画期間	開始年度	昭和55年度	終了予定年度	令和4年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	地方自治法、地方公営企業繰出金について(総務副大臣通知)										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (特別会計への繰出金)										
関連事業	公設地方卸売市場事業特別会計各事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	公設地方卸売市場の円滑な運営を図るための公設地方卸売市場事業特別会計に対する繰出金										
対象者	-			対象者数	-			単位あたりコスト			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (特別会計への繰出金)										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	公設地方卸売市場事業特別会計運営に必要な経費等に対して繰出金を一般会計から支出する。 卸売市場内の取引の公正を期するため、業者の指導監督等に要する経費等として営業費用の30%を繰出基準内としている。 価格安定対策事業分、相対出荷促進事業分などは、繰出基準外としている。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容						
	繰出金	17,763			公設地方卸売市場事業特別会計への繰出金						

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	9,300	25,300	19,900	0	
	② 補正予算	0	3,595	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①~③)	9,300	28,895	19,900	0		
予算財源内訳	① 一般財源	9,300	28,895	19,900	0	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	0			
	② 配当予算	9,300	28,895			
	③ 執行額	6,947	17,763			
	④ 執行率	74.7%	61.5%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.03 / 0.00	0.01 / 0.00	0.01 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	240	80	80	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	7,187	17,843	80	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
		[定性的評価のため入力なし]		/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	繰出金決算額	百万円	10.4 / 14	6.9 / 9.3	17.8 / 25.3	/ 19.9	
	単位あたりコスト		-	-	-		
	単位あたりコスト		/	1 /	/		公設地方卸売市場事業特別会計繰出金

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	公設地方卸売市場の安定的な運営を図るうえで必要である。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	特別会計に繰出をすることにより、公設地方卸売市場の安定的な運営を図ることができた。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	公設地方卸売市場の安定的な運営の一助となっている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	特別会計に繰出をすることにより、公設地方卸売市場の円滑な運営を図ることができた。【定性的評価】		
改善策	令和4年度中に公設地方卸売市場事業特別会計の閉鎖(民間への貸付へ変更)を予定しており、同繰出金においても令和4年度中に閉鎖見込としている。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和4年度をもって公設地方卸売市場を閉鎖し、普通財産貸付運用へと変更することで特別会計も閉鎖するため、本事業を廃止する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	水土里ネット京都関連事業			事業コード	210109						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進			施策コード	831					
事業担当	所属	25010000 産業政策部 農政課		所属長	小西 晴之						
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	05 農地費	会計	01 一般会計	決算付属資料	168	頁
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	京都府土地改良事業団体連合会定款										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (京都府土地改良事業団体連合会事業)										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	本市の農業基盤整備を実施するにあたり、京都府土地改良事業団体連合会と連携して事業を推進することで施策の効率化と円滑化を図る。										
対象者	全農区	対象者数	248		単位あたりコスト	120.0					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	井上(株)、公正産業(株)										
事業概要 (簡潔書き)	・農業農村整備事業を行う府内の市町村、土地改良区、農業協同組合等で構成する京都府土地改良事業団体連合会に賦課金を支出し、当該連合会により技術的援助等を受けた。 ・本市が加入する京都府土地改良事業団体連合会から交付金の交付を受けて、農業用施設の更新・改修を行い、施設の適切な維持管理と長寿命化を図った。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	工事請負費	22,517	奥野部揚水機更新工事、南ヶ端井堰塗装工事								
	負担金補助及び交付金	4,866	賦課金								
	需用費	16	燃料費								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	38,605	27,795	8,602	18,412				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	38,605	27,795	8,602	18,412					
予算財源内訳	① 一般財源	5,465	3,835	1,817	3,642				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	33,140	23,960	6,785	14,770				
決算情報	① 流充用額	0	△ 100						
	② 配当予算	38,605	27,695						
	③ 執行額	37,733	27,399						
	④ 執行率	97.7%	98.9%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.38 / 1.40	0.20 / 0.30	0.20 / 0.30	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	6,540	2,350	2,350	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	44,273	29,749	2,350	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	水土里ネット京都関連事業	種類	農林業費分担金	実績金額	3,785	決算付属資料	8	頁
		水土里ネット京都関連事業交付金	雑入		20,250		46		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	更新施設数	箇所	2 / 2	5 / 5	2 / 2	/ 1	10
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	事業新規加入施設数	箇所	2 / 2	3 / 3	4 / 4	/ 2	11
	単位あたりコスト		7868.8	12577.7	6849.8		
	単位あたりコスト		/	3 /	/	/	水土里ネット京都関連事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 設置、改良等から20年以上経過し老朽化した農業用施設について、施設更新等にかかる地元要望に基づき事業を実施した。 また、京都府土地改良事業団体連合会の定款により定められた義務的経費であるため、継続して支出する必要がある。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 農業用施設にかかる専門知識が豊富な京都府土地改良事業団体連合会に対して、定款に定められた義務的経費を支払うことにより専門的な施設診断を無償で受けることができ、施設の更新計画を迅速に決定することができた。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 本事業は、施設全体を改修するのではなく、改修の必要な箇所だけを実施していく事業であり、施設全体の長寿命化を行うなど経済性に優れた事業であり、農地・農業用施設などの維持管理に有効である。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した農業用施設の改修を行い長寿命化を図るため、対象団体に対して京都府土地改良事業団体連合会の事業である土地改良施設維持管理適正化事業の活用を促進し、施設整備を行うことができた。 改修が必要となった農業用施設について、修繕や補修を行う長寿命化の事業であり、今後も老朽化していく施設が増えていくなかで、適正に事業を実施し、持続的な営農活動を支援することができた。 農業用施設の老朽化の進行に伴う施設の突発的な不具合が各地で発生しており、施設更新等の要望に対して対応ができていない状況となっている。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 農繁期前後の施設点検による施設の状況把握により、計画的に施設更新等が行えるよう地元団体に周知を行う。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> 本事業は事業採択申請のあった京都府内の施設の診断結果を基に、京都府土地改良事業団体連合会が工事実施年度の優先順位を決定するものであるため、要望を受けた各施設の現状を伝え、早期の工事実施を要望していく。 また、農業用施設の更新・改修を行い、施設の適切な維持管理と長寿命化を図ることにより、意欲ある農業者団体等を支援し、地域の農業振興を図る。 京都府土地改良事業団体連合会が決定した工事実施計画に基づき事業を実施する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	農業施設維持修繕事業			事業コード	210117						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進		施策コード	831						
事業担当	所属	25010000 産業政策部 農政課		所属長	小西 晴之						
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	05 農地費	会計	01 一般会計	決算付属資料	168	頁
	計画期間	開始年度	平成10年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R4現在の状況	継続中	
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	農業用施設の維持修繕を行い施設の長寿命化を図ることで、農作業道などの農業インフラ環境を整え、生産・流通基盤の充実を図る。										
対象者	全農区	対象者数	248	単位あたりコスト	59.3						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	西日本高速道㈱関西支社 福知山高速道路事務所										
事業概要 (箇条書き)	・地元に対して砕石及び真砂土を提供することで、未舗装農道の修繕を行い、生産・流通基盤の充実を図った。 ・舞鶴若狭自動車道に設置されている跨道橋(2橋)について、施設の長寿命化を図るため業務委託により定期点検を行った。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	委託料	8,791	跨道橋定期点検業務、石場地区ほか災害測量業務、確定測量図修正業務								
	需用費	218	砕石・真砂土支給								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	500	5,226	500	500				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	500	5,226	500	500					
予算財源内訳	① 一般財源	500	5,226	500	500				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	34	3,975						
	② 配当予算	534	9,201						
	③ 執行額	533	9,009						
	④ 執行率	99.8%	97.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.22 / 0.00	0.65 / 0.20	0.65 / 0.20	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,760	5,700	5,700	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,293	14,709	5,700	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	整備箇所	箇所	8 / 20	3 / 20	8 / 20	/ 20	20
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	資材配布箇所	箇所	8 / 20	3 / 20	8 / 20	/ 20	20
	単位あたりコスト		49.3	177.7	1126.1		
	単位あたりコスト		/	5 /	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元要望に基づき砕石等の農道補修資材の支給を行った。 ・各地域で維持管理されている未舗装農道において、豪雨等によるわだち掘れにより通行に支障を来し、農産物の輸送等にも影響がでるおそれがあるため、事業として継続していく必要がある。 	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・支給した農道補修用資材については、地元作業により敷設されており、コスト削減が図られている。 	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> ・過疎高齢化が進み後継者不足のなか、農道の維持管理への砕石支給は、経済的な地元負担の軽減と、耕作放棄を食い止める政策であり、今後とも実施していく必要があり有効性は高い。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域で行う農道の維持修繕事業等に対して砕石等の資材配布を行うことで、地域の農業支援に繋げることができた。 ・豪雨等による災害被害がなく、通常の維持管理に対する支給のみであったため、成果実績及び活動実績が未達成となった。 ・舞鶴若狭自動車道に設置されている跨道橋(2橋)の定期点検を実施し、現状確認を行うことにより施設の長寿命化を図ることができた。 ・現状において課題はない。 		
改善策			

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	地元に対して砕石及び真砂土を提供することにより、未舗装農道の修繕や維持管理の負担軽減を図る。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	府営川北地区ほ場整備事業			事業コード	210173						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進			施策コード	831					
事業担当	所属	25010000 産業政策部 農政課		所属長	小西 晴之						
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	05 農地費	会計	01 一般会計	決算付属資料	168・170	頁
計画期間	開始年度	平成26年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	-		R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	農業競争力強化基盤整備事業実施要綱										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (府営事業)										
関連事業	社会資本整備総合交付金事業(道路整備)										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	川北地区における農地集積の加速化や農業の高付加価値化の推進、また担い手育成の環境整備等を図るため、農業の経営基盤及び生産基盤を強化する。										
対象者	川北地域づくり委員会、地権者			対象者数	121		単位あたりコスト	322.3			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (負担金支出)										
委託先・実施主体等	京都府、京都府土地改良事業団体連合会										
事業概要 (箇条書き)	・川北地区の由良川築堤事業の実施に際し、関連する河川や市道の整備と一体的に大区画ほ場整備事業を導入し、集約化が可能な生産基盤の整備と併せて経営体の育成を図った。 ・川北地区のほ場の一部において、一時利用地の指定(6.6ha)を行った。										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	負担金補助及び交付金	32,490		府営事業負担金							
	委託料	2,497		換地業務							
	報償費	556		委員報酬							
	需用費	5		ガソリン代							
	役務費	2		郵送料							

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	30,878		22,135		11,129		24,140		
	② 補正予算	△ 8,550		13,950		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①~③)	22,328		36,085		11,129		24,140			
予算財源内訳	① 一般財源	488		1,014		527		1,108		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	4,140		3,311		4,132		1,332		
	④ 地方債	5,700		10,100		2,000		6,700		
	⑤ その他特財	12,000		21,660		4,470		15,000		
決算情報	① 流充用額	0		0						
	② 配当予算	22,328		36,085						
	③ 執行額	19,734		35,550						
	④ 執行率	88.4%		98.5%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.57 / 0.05	0.40 / 0.10	0.40 / 0.10	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	4,685		3,450		3,450		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	24,419		39,000		3,450		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	府営川北地区ほ場整備事業		種類	農林業費分担金		21,660		8	
		府営川北地区ほ場整備事業			農林業費府委託金		3,053		32	
		府営川北地区ほ場整備事業(防災・減災・国土強靱化緊急対策事業)			農林業債		1,800		50	
					実績金額		決算付属資料		頁	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	担い手農地集積率	%	0 / 0	0 / 0	32 / 20	/ 50	100
作物生産増加量	t	0 / 0	0 / 0	7.7 / 8	/ 8	16.6	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	整備進捗率	%	53 / 100	70 / 100	73 / 100	/ 100	100
	単位あたりコスト		906.2	281.9	487.0		
	単位あたりコスト		/	7 /	/	/	府営川北地区ほ場整備事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 地元要望に基づき効率的かつ安定的な農業経営を図るためのほ場整備を実施した。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 府営事業により実施することで、市及び地元の負担額を軽減するとともに、由良川の築堤や関連府管理河川改修工事等の事業に併せて実施することにより、効率的なほ場整備を実施した。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 営農担い手不足とされる中、従来の小区画ほ場を大区画に整備し、農作業の効率化及び生産性向上を図ることで、地元の負担を軽減することができ、安定的な農業経営を行うことができるため有効性は高い。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 府営事業において、年次計画に基づき面的整備が実施されているが、進捗が遅れが生じており事業完了年度が令和3年度から令和6年度に変更となっている。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 京都府との定期的な工程会議により事業の進捗を図る。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	事業主体である京都府と連携しながら、年次計画に基づき事業を進め、必要となる負担金を支出する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	農地・農業用施設災害復旧事業			事業コード	210185						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進			施策コード	831					
事業担当	所属	25010000 産業政策部 農政課		所属長	小西 晴之						
会計情報	款	13 災害復旧費	項	01 農林施設等災害復旧費	目	01 農林施設等災害復旧費	会計	01 一般会計	決算付属資料	248	頁
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和4年度	関連計画名	R4現在の状況			継続中		
根拠法令等	農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	豪雨、暴風、地震その他の異常な自然現象により激甚災害を受けた農地及び農業用施設について復旧を行い、農業生産の維持を図ることで、農業経営の安定化に寄与するとともに、耕作放棄地化を防止し農地の持つ多面的機能を確保する。										
対象者	全農区	対象者数	248	単位あたりコスト	17.1						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	夜久野土木企業組合、上田土建㈱、㈱森田建設										
事業概要 (箇条書き)	・被災した農地及び農業用施設について、災害復旧工事を実施した。 ・また、小規模な被災箇所については補助事業を実施し、農地、施設の機能回復と維持管理経費の節減を図った。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	負担金補助及び交付金	1,200	福知山市農地・農業用施設災害復旧事業補助金								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	0	0	0	0	0	0	0	
	② 補正予算	0	14,480	0	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	11,000	△ 13,280	13,280	0	0	0	0	
	前年度繰越	11,000	0	13,280	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	△ 13,280	0	0	0	0	0	
小計(①～③)	11,000	1,200	13,280	0	0	0	0		
予算財源内訳	① 一般財源	110	1,200	3,380	0	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	0	0	0	0	
	③ 府支出金	10,791	0	9,810	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	99	0	90	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	11,000	1,200						
	③ 執行額	10,968	1,200						
	④ 執行率	99.7%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	1.40 / 1.90	0.35 / 0.10	0.35 / 0.10	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	15,950	3,050	3,050	0	0	0	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	26,918	4,250	3,050	0	0	0	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	復旧箇所数	箇所	295 / 295	1 / 1	4 / 17	/ 17	-
	単位あたりコスト		1249.4	10968.0	300.0		
	単位あたりコスト		/	9 /	/		

農地・農業用施設災害復旧事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害により被害を受けた農地・農業用施設のうち、事業採択要件を満たした箇所について災害復旧工事を実施した。 ・災害により被害を受けた農地・農業用施設のうち、事業採択要件を満たさなかった箇所について、地元が実施した災害復旧工事に対して補助金を支出した。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・国庫補助の有利な財源を確保するとともに、補助金の増高申請により受益者負担の軽減を図り適切な地元負担とした。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> ・過疎高齢化が進み後継者不足の中、耕作放棄地を増やさないためにも今後も実施していく必要があり有効性は高い。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・被災した農地・農業用施設の地元復旧に対する事業費補助を行うことにより、早期に復旧することができ早期の耕作再開に繋げることができた。 ・現状において課題はない。 		
改善策			

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	被害を受けた農地・農業用施設を緊急的に復旧することにより、営農の早期再開に繋げる。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	農地耕作条件改善事業			事業コード	210194						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進		施策コード	831						
事業担当	所属	25010000 産業政策部 農政課		所属長	小西 晴之						
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	05 農地費	会計	01 一般会計	決算付属資料	170	頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	農地耕作条件改善事業実施要綱										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	担い手への農地集積の加速化や農業の付加価値化の推進等により、意欲ある農業者が農業を継続できるよう耕作条件の改善を実施するとともに、農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約化の加速を支援し、農業競争力の強化を図る。										
対象者	全農区	対象者数	248	単位あたりコスト	65.7						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	三和建設工業(株)、(株)拓一工業										
事業概要 (箇条書き)	・農業基盤の基礎となる農道舗装を実施することで、草刈、わだち等の改良作業の労力を軽減し、農作物の生産性の向上を図った(三俣地区 A=1,813㎡)。 ・暗渠排水の整備を実施することで、農地管理の省力化と作業効率の向上を図った(三俣地区 L=250m)。										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	工事請負費(繰越)	11,352	三俣地区農道舗装(その2)工事								
	工事請負費	2,453	三俣地区暗渠排水工事								
	需用費	82	消耗品、燃料費								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	30,165	3,287	12,761	0				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	7,420	11,484	0	0				
	前年度繰越	18,904	11,484	0	0				
	次年度繰越	△ 11,484	0	0	0				
小計(①～③)	37,585	14,771	12,761	0					
予算財源内訳	① 一般財源	6,681	1,156	686	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	22,504	8,608	6,875	0				
	④ 地方債	5,400	3,200	3,700	0				
	⑤ その他特財	3,000	1,807	1,500	0				
決算情報	① 流充用額	0	△ 300						
	② 配当予算	37,585	14,471						
	③ 執行額	36,867	13,887						
	④ 執行率	98.1%	96.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.43 / 0.20	0.30 / 0.00	0.30 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	3,940	2,400	2,400	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	40,807	16,287	2,400	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	農地耕作条件改善事業(繰越明許費分)	種類	農林業費分担金	実績金額	908	決算付属資料	8	頁
		農地耕作条件改善事業(繰越明許費分)		農林業費府補助金		6,810		28	
		農地耕作条件改善事業		農林業費分担金		735		8	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	実施地区数	箇所	2 / 2	2 / 2	2 / 2	2 / 2	1
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	整備延長	m	1947.3 / 2304	1081.3 / 1972.3	877 / 1130.4	502	5709.4
	単位あたりコスト		30.4	34.1	15.8		
	単位あたりコスト			11			

農地耕作条件改善事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元要望に基づき農道の路面改良や暗渠排水の整備を実施し、維持管理労力の軽減及び作業効率の向上、農作物の生産性の向上を図った。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事発注にかかる測量設計については直営で実施しコスト削減を図った。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> ・営農活動に必要な農業用施設の更新及び改修は欠かせないものであり、各地域において担い手不足が深刻な問題となる中において、農作業効率の回復を図ることは地元にとって有効性が高い。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・未舗装農道をアスファルト舗装することで、維持管理労力を軽減、作業性の向上及び農作物の生産性の向上に繋げることができた。 ・暗渠排水工事を行うことにより、耕作不能部分の条件改善を行い耕作面積の拡大を図り、農作物の生産性の向上に繋げることができた。 ・年度内完了が困難となり次年度に繰り越したことにより、活動実績が未達成となった。 ・現状において課題はない。 		
改善策			

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲ある農業者が農業を継続できるよう耕作条件の改善を実施するとともに、農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約化の加速を支援し、農業競争力の強化を図る。 ・本事業に係る地元要望が令和4年度事業で完了したため、令和4年度をもって休止とするが、新たな地元要望があれば再度本事業により実施する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	農林漁業施設維持管理事業			事業コード	210122						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進		施策コード	831						
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課		所属長	余田 学						
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	162	頁
	計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	公共施設マネジメント実施計画		R4現在の状況	継続中	
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	公共施設民間譲渡事業(農業施設(共同作業所))、公共施設除却事業(農業施設(共同作業所))										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	地域の農業を維持するために、市が所有し地元が管理している農林業振興課所管の農林漁業施設の維持管理を行う。										
対象者	総農家数(2020農林業センサスデータ)	対象者数	3,081	単位あたりコスト	0.4						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	◇農林業振興課所管施設の損害保険料を支出した。 ◇農林業振興課所管施設について除草業務を行った。										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	報償費	218	地元自治会除草作業への報償費								
	役務費	62	損害保険料45、除草ごみ廃棄手数料16								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	870	869	417	6,924				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	870	869	417	6,924					
予算財源内訳	① 一般財源	870	869	417	6,924				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	870	869						
	③ 執行額	530	280						
	④ 執行率	60.9%	32.2%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.14 / 0.00	0.10 / 0.00	0.10 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,120	800	800	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,650	1,080	800	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	保険料	千円	47 / 0	46 / 46	46 / 46	46 / 46	-
公共施設除却、譲渡(延数)	施設	16/56 / 0	16/56 / 19	16/56 / 19/56	19	56	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	公共施設除却、譲渡数	施設	1 / 0	0 / 3	0 / 3	3	-
	単位あたりコスト		2259.0				
	単位あたりコスト			13			

農林漁業施設維持管理事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> ◇農業用施設の適切な管理のための損害保険加入である。 ◇地元自治会への除草作業依頼は管理用地周辺の地域生活環境保全のため必要である。 	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> ◇地元自治会への除草業務報償費は、シルバー人材センター委託実績を参考に設定しており、適切と行える。 	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> ◇施設の維持管理は適切にできている。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ◇農林業振興課所管の農林漁業施設の損害保険料の支出を行うとともに農林業振興課所管の用地の除草を行い、適切な管理を行った。 ◇事業費削減のために市有資産の施設利用者(地元)への譲渡を進めている。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ◇資産の有効な活用を図るため、福知山市公共施設マネジメント計画に則り、施設利用者(地元)との合意形成に向けて、地元との協議を重ね、各施設における問題点の解決に取り組む。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	公設地方卸売市場事業特別会計が令和4年度で廃止となる予定であるため、来年度以降の卸売市場に福知山市として費用負担(施設維持管理)部分を予算計上している。(工事請負費、需用費など)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	林業関係事務事業			事業コード	210124						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進		施策コード	831						
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課		所属長	藤澤 稔						
会計情報	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	01 林業総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	170	頁
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	総会等の職員旅費及び林業を振興するにあたっての事務経費を当事業で支出する。										
対象者	-			対象者数	-			単位あたりコスト			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	株式会社システムリサーチ福知山支店										
事業概要 (箇条書き)	◇関係団体との調整に要する旅費や、事務事業を円滑にするための需用費、役員費の執行 ◇各関係団体への負担金や、旧償使用権に伴う補償料										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容						
	旅費、需用費	399			出張に係る旅費、消耗品費の購入費用、公用車の車検費用等						
	役員費、使用料及び賃借料	249			郵送料、電話代、高速道路通行料等						
	委託料	396			治山林道工事等積算システム保守業務委託						
	負担金補助及び交付金、補償、補填及び賠償金	1,204			各関係団体への負担金及び旧償使用権に伴う補償料等						
公課費	7			公用車に係る自動車重量税							

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	3,790		1,691		1,731		1,807		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①~③)	3,790		1,691		1,731		1,807			
予算財源内訳	① 一般財源	2,660		553		593		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	1,130		1,138		1,138		0		
決算情報	① 流充用額	0		563						
	② 配当予算	3,790		2,254						
	③ 執行額	1,767		2,254						
	④ 執行率	46.6%		100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.16	/	0.00	0.21	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	1,280		1,680		1,680		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,047		3,934		1,680		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	土地貸付収入(旧償関係)		種類	財産貸付収入		546		32	
		電柱類設置貸付収入(山林関係)			財産貸付収入		598		34	
		分取造林収益分収金			雑入		632		48	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト			15	/	/	林業関係事務事業
	単位あたりコスト		/				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	林業振興を円滑に進めるにあたり必要な事務経費である。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	交通費等のコスト比較を行った上、また物品購入の際は精査したうえで購入しており、支出を最小限に抑えている。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	成果指標の設定は困難であるが、林業を振興するにあたっての事務経費及び旧慣使用権に伴う補償料等の必要最小限のものを事業で支出しており、林業振興を図る上で有効である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	◇林業を振興するにあたっての事務経費及び旧慣使用権に伴う補償料等として適正に支出した。 ◇事務事業であるため、可能な限り効率化が必要である。		
改善策	◇林業振興を円滑に進めるために必要な事務経費であるため、今後も効率化を図りながら事業を実施する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	森林整備地域活動支援推進事業						事業コード	210131				
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち				政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立					
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進					施策コード	831				
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課				所属長	藤澤 稔					
会計情報	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	170・172	頁
計画期間	開始年度	平成14年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	意欲的林業者グループ活動支援事業補助金交付要綱											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	林業の健全な発展及び森林を守り育てる活動のさらなる拡大を目指し、望ましい林業構造の確立を図り、山村地域のコミュニティを維持、活性化させるため、林業者等で構成し、意欲的に活動するグループを支援する。											
対象者	林業者グループ				対象者数	4		単位あたりコスト	293.3			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	-											
事業概要 (箇条書き)	◇林業の健全な発展を目指し、望ましい林業構造の確立を図るため林業者等で構成し、意欲的に活動するグループに対する補助。											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	負担金補助及び交付金	213		林業者グループ等に対する補助金								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	400	370	370	4,057					
	② 補正予算	0	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0	0					
小計(①～③)	400	370	370	4,057						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0	0					
	③ 府支出金	400	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	370	370	0					
決算情報	① 流充用額	0	0							
	② 配当予算	400	370							
	③ 執行額	187	213							
	④ 執行率	46.8%	57.6%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.10 / 0.00	0.12 / 0.00	0.12 / 0.00	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	800	960	960	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	987	1,173	960	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	森林整備地域活動支援推進事業基金繰入		種類	基金繰入金	実績金額	213	決算付属資料	40	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	森林整備面積(市全体)	ha	266 / 565	181 / 587	集計中 / 587	/ 587	587
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	森林経営計画認定	地区	2 / 2	3 / 20	1 / 10	/ 5	30
	単位あたりコスト		145.4	62.3	213.0		
	単位あたりコスト		/	17 /	/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	林業の健全な発展を目指し、森林整備の促進や技術の研鑽が期待できる意欲的な林業者グループを支援した。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	補助対象者の事業内容を十分に精査し、コストも考慮したうえで、補助金の支出を行った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	補助を活用し、林道・作業道の整備が行われたほか、研修会の開催による技術の研鑽や知識の習得が行われた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	◇意欲的林業者グループに補助を行うことで、林業振興を行う上での地域のリーダー的存在の育成につなげ、更なる林業振興の推進を図っている。 ◇研修会の開催により、林業者グループ構成員の個々の技術の研鑽や知識の習得を促進し、地域レベルでの林業の振興に寄与している。 ◇林業振興の活性化に必要な事業であり、引き続き補助を実施する。		
改善策	◇例年とおりの定型的な活動に留まる団体や、高齢化等による活動の衰退の見える団体もあり、本事業を活用した更なる活動の活性化を求めていく。 ◇具体的には、各団体における総会等で市の事業説明等を行うことで、市との連携も図っていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	森林適正整備推進事業			事業コード	210133						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進			施策コード	831					
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課		所属長	藤澤 稔						
会計情報	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	172	頁
計画期間	開始年度	平成14年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市緑の公共事業補助金交付要綱										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	奥地条件不利地におけるスギ・ヒノキの人工林の健全な成長を促進させるため、緊急的な間伐を支援する。										
対象者	福知山地方森林組合			対象者数	5,863		単位あたりコスト	0.6			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	福知山地方森林組合										
事業概要 (箇条書き)	◇条件不利地での高齢級間伐の事業費に対する支援(三和町辻ほか) 間伐19.75ha 搬出9m ³										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	負担金補助及び交付金	3,109		条件不利地での高齢級間伐に対する補助金							

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0	3,110	3,110	3,359				
	② 補正予算	3,110	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	3,110	3,110	3,110	3,359					
予算財源内訳	① 一般財源	519	519	519	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	2,591	2,591	2,591	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	3,110	3,110						
	③ 執行額	3,110	3,109						
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.10 / 0.00	0.07 / 0.00	0.07 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	800	560	560	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,910	3,669	560	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	緑の公共事業(森林適正整備推進事業)	種類	農林業費補助金	実績金額	2,588	決算付属資料	28	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	森林整備面積(市全体)	ha	266 / 565	181 / 587	集計中 / 587	/ 587	587
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	森林整備面積	ha	13 / 40	20 / 150	19.75 / 150	/ 20	150
	単位あたりコスト		149.6	155.5	157.4		
	単位あたりコスト		/	19 /	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	森林の持つ多面的機能を発揮させることは、森林所有者以外の市民へも恩恵をもたらすものであり、森林整備を実施することで多面的機能の発揮に寄与した。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	京都府が定めた標準単価を採用しており、妥当なコストで事業を実施した。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	成果目標については、過去の実績から増加させているものであり、十分に理にかなったものとは言いが、令和3年度の森林整備についても森林の持つ多面的機能の発揮に寄与した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>◇奥地条件不利地において、森林所有者が間伐の施策を希望する場合、非常に有効な補助事業であり活用を希望する森林所有者は多い。おける間伐事業については、森林所有者のニーズも高く、継続して進めていくべき事業である。</p> <p>◇ただし、市が実施する事業のみで成果実績の達成は困難である。</p>		◇本事業に
改善策	<p>◇京都府と調整して必要な箇所の整備を行い、市全体の森林整備面積を増加させる。</p> <p>◇なお、森林整備面積の増加に向けては、特に担い手の確保が重要であるため、他の事業と連携して取り組む。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	公共施設民間譲渡事業(農業施設(共同作業所))			事業コード	210161						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進		施策コード	831						
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課		所属長	余田 学						
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	162	頁
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	公共施設マネジメント実施計画		R4現在の状況	継続中		
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	農林漁業施設維持管理事業、公共施設除却事業(農業施設(共同作業所))										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	農地・農業用施設などの機能維持及び地域農業の推進のために、地域住民による施設の管理運営が適切な場合や民間事業者が継続的に運営することが可能かつ妥当な場合において、地域コミュニティや民間事業者に施設を委譲することにより、当該施設の機能・サービスの継続やサービスの向上を図る。										
対象者	公共施設マネジメント後期実施計画で譲渡予定の施設			対象者数	35		単位あたりコスト	27.0			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	農林業振興課所管の施設の譲渡に向けて施設管理者と協議を行った(新町農業作業所、下猪崎共同農作業所)。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	需用費	145		新町農業作業所法面修繕							

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	400	293	93	93	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①~③)	400	293	93	93		
予算財源内訳	① 一般財源	0	293	93	93	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	400	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	0			
	② 配当予算	400	293			
	③ 執行額	0	145			
	④ 執行率	0.0%	49.5%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.08 / 0.00	0.10 / 0.00	0.10 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	640	800	800	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	640	945	800	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	削減維持費(年間、累計)	千円	0 / 4	0 / 4	0 / 4	0 / 4	46
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	除却、譲渡件数	件	0 / 3	0 / 3	0 / 3	3	56
	単位あたりコスト						
	単位あたりコスト			21			

公共施設民間譲渡事業(農業施設(共同作業所))

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>◇継続利用による事業効果が見込まれる施設について、施設管理者へ譲渡することで財政負担を軽減するとともに、譲渡により貴重な財源をより意義のあるサービスへ転換することができる。</p>	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>◇施設譲渡の条件である改修工事については協議を実施し、登記経費等は単価が設定されており、コストは妥当なものである。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>◇当該年度中に施設の譲渡には至らなかったが、公共施設マネジメント計画に沿った事業である。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>◇対象施設のマネジメントに係る地元説明は完了している。 ◇継続利用による事業効果が見込まれる施設については、管理者へ譲渡することで維持管理費の支出削減が図ることができる。</p> <p>◇各施設の地元での利用、管理状況の把握に時間を要している。 ◇対象施設の施設処分等にかかる合意形成に時間を要している。 ◇施設の維持管理費が損害保険料のみとなっている中、一定の大きな修繕を行ったうえで民間に譲渡することのコストの再比較が必要である。</p>		
改善策	<p>◇各施設の地元での利用、管理状況を的確に把握し、早期に施設処分等に係る合意形成を図る。 ◇マネジメント計画の着実な実施により事業の縮減を図る。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>公共施設マネジメント計画に基づき、各施設の地元での利用、管理状況を的確に把握しながら、施設処分等に係る合意形成を図る。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	森林組合間伐補助事業			事業コード	210170						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進		施策コード	831						
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課		所属長	藤澤 稔						
会計情報	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	172	頁
計画期間	開始年度	平成24年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	森林組合間伐補助事業補助金交付要綱										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	優良材生産や健全な森林育成の基本である間伐施業を推進するため、主たる事業主体である森林組合に支援することで、市民(森林所有者)の負担軽減を図り、森林整備を促進する。 また、間伐した木材の搬出に対して支援することで一層の木材利用の推進を図る。										
対象者	福知山地方森林組合			対象者数	5,916		単位あたりコスト	1.9			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	福知山地方森林組合										
事業概要 (箇条書き)	◇森林環境保全直接支援事業(搬出間伐) 標準経費の20%補助 ◇合板・製材生産性強化対策事業 標準経費の20%補助 ◇間伐材出材奨励補助 2,400円/m3補助										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	負担金補助及び交付金	9,985		間伐施業及び木材の搬出に対する補助金							

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	17,541	15,616	15,590	25,926	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①~③)	17,541	15,616	15,590	25,926		
予算財源内訳	① 一般財源	12,573	11,440	15,590	0	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	4,968	4,176	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 7,446	△ 2,704			
	② 配当予算	10,095	12,912			
	③ 執行額	9,736	9,985			
	④ 執行率	96.4%	77.3%			
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.10 / 0.00	0.12 / 0.00	0.12 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	800	960	960	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	10,536	10,945	960	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	森林整備面積(市全体)	ha	266 / 565	181 / 587	集計中 / 587	/ 0	587
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	森林整備面積(間伐)	ha	95.01 / 130	66.41 / 250	集計中 / 250	/ 0	250
	単位あたりコスト		111.3	146.6			
	間伐材搬出	m3	1733 / 3680	2056 / 4000	集計中 / 4000	/ 0	4000
単位あたりコスト		6.1	4.7				

森林組合間伐補助事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	森林の持つ多面的機能を発揮させるには、森林整備が必要であり、国レベルでも防災の面から森林整備は喫緊の課題とされている中で、森林整備を推進する本事業を実施した。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	京都府が定めた標準単価を採用しており、妥当なコストで事業を実施した。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	森林整備を着実に実施し、市民(森林所有者)の負担軽減を図ることができており、有効な事業である。 ただし、森林整備面積は減少傾向にあるが、森林整備面積の増加に寄与した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	◇森林整備を着実に実施し、市民(森林所有者)の負担軽減を図ることができているが、森林整備面積は、年々減少傾向であり、林業作業員数等の多方面からの支援と合わせて森林整備を促進していく必要がある。		
改善策	◇森林整備に対する支援は今後も必要であり、国・府の支援のについて注視しながら事業を推進していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和4年度までは対象が福知山地方森林組合のみに対する補助金であったが、森林整備をより推進するため、市内に本社・本店を有する林業事業体に拡充する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input checked="" type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: 間伐補助事業(R5新規事業))
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	農業振興事務管理事業			事業コード	210189						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進			施策コード	831					
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課		所属長	余田 学						
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	164	頁
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	農業振興に係る一般的経費を当事業で支出する。										
対象者				対象者数				単位あたりコスト			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	農業振興施策に関する事務管理をした。										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	報酬及び職員手当等	922	臨時職員報酬及び職員手当								
	需用費	707	消耗品費ほか								
	役務費	624	郵送料ほか								
	使用料及び賃借料	267	複写機使用料、公用車リース料								
	その他事務経費	52	旅費、備品購入費								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,050	1,979	2,001	2,020				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	2,050	1,979	2,001	2,020					
予算財源内訳	① 一般財源	1,662	1,591	1,613	1,625				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	388	388	388	394				
決算情報	① 流充用額	377	922						
	② 配当予算	2,427	2,901						
	③ 執行額	1,888	2,572						
	④ 執行率	77.8%	88.7%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.14 / 0.00	0.07 / 0.00	0.07 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,120	560	560	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,008	3,132	560	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	電柱占有料	種類	農林使用料	実績金額	4	決算付属資料	10	頁
		携帯電話アンテナ占有料		農林使用料	385		10		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	研修参加回数	回	/	/	1 / 3	/ 3	-
	単位あたりコスト				2572.0		
	単位あたりコスト		/	25 /	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	農業振興を円滑に進めるため、必要な経費である。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	旅費の精査、物品購入の価格比較等コスト削減に努めている。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	自動車の借り上げや課内の備品の適切な管理、農業者への各種の通知の発送等により円滑な業務が維持できている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	農業振興を推進するための事務経費として適切に支出しており、今後も必要な経費である【定性的評価】		
改善策	無駄な経費を支出していないか、常にコスト意識の維持に努める		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	農業振興に係る事務経費であり、引き続き効率的な実施を継続する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	河川種苗放流事業			事業コード	210211						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進		施策コード	831						
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課		所属長	余田 学						
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	164	頁
計画期間	開始年度	昭和50年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	漁業法、内水面漁業振興対策事業費補助金交付要綱、福知山市内水面漁業振興対策事業費補助金交付要領、由良川漁業協同組合強化育成事業費交付要領										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	自己利益の向上を目指すだけでなく、由良川水系の漁業権を持つことで遊漁期間や遊漁区域、漁具を限定し、由良川における水産資源の保全にも大きな役割を果たしている由良川漁協を支援することで、あゆやふな等の水産資源の保全と増殖を図る。										
対象者	由良川漁業協同組合			対象者数	1		単位あたりコスト	11,245.0			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	由良川漁業協同組合										
事業概要 (箇条書き)	◇あゆやふな等の放流にかかる種苗費用に対して、予算の範囲内で補助を行った。 ◇由良川漁業協同組合の経営基盤強化、体制整備のため支援を行った。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	負担金補助及び交付金	10,685		河川種苗放流事業補助金4,685、由良川漁業協同組合強化育成事業補助金6,000							

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	10,880	10,880	10,900	10,500				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	10,880	10,880	10,900	10,500					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	2,440	2,440	2,450	2,250				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	8,440	8,440	8,450	8,250				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	10,880	10,880						
	③ 執行額	10,410	10,685						
	④ 執行率	95.7%	98.2%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.13 / 0.00	0.07 / 0.00	0.07 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,040	560	560	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	11,450	11,245	560	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	河川種苗放流事業	種類	農林業費府補助金	実績金額	2,245	決算付属資料	28	頁
		河川種苗放流事業基金繰入		基金繰入金	8,440		36		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標	
		水産物の販売、遊漁券の売上げ	千円	10906 / 0	7815 / 17000	13673 / 17000	/ 17000	17000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標	
		種苗放流量(あゆ、ふな等)	千匹	255 / 350	263 / 350	237 / 350	/ 350	350
		単位あたりコスト		36.3	39.6	45.1		
		単位あたりコスト		/	27 /	/	/	河川種苗放流事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	河川種苗放流事業は由良川水系の水産資源確保に大きく寄与しており、また漁業者からのニーズも高く、これからも必要な事業である。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	水産資源保全のためには外来種による淘汰や天敵による捕食分を考慮し、ある程度の数の種苗を放流することが必要である。そのため一定のコストはかかるが、現在の事業費総額は補助金額の倍以上であり、補助金額に対する事業の効果は大きい。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	種苗費の一部を助成することで天然アユをはじめとする由良川水系の水産資源を守ることが淡水漁業の振興に寄与している。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	種苗放流数は、目標に届かないものの、一定数の放流はできている。今後も継続し、放流量を増やして由良川水系の水産資源を維持する必要がある。近年カワウ等の食害により、漁業者の出荷量や入漁料収入が安定しないため、鳥獣対策の取組が必要である。		
改善策	カワウ等による食害の影響が続くと思われるため、有害鳥獣対策担当や関係団体と連携し、カワウの増殖抑制対策や駆除に協力していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	本事業は、水産資源を維持するために継続して取り組む必要がある。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	京野菜生産加速化事業			事業コード	210215						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進		施策コード	831						
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課		所属長	余田 学						
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	164	頁
計画期間	開始年度	平成15年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	京野菜生産加速化事業実施要綱、パイプハウス整備事業実施要領、生産・流通改善条件整備事業実施要領、福知山市京野菜生産加速化事業補助金交付要領等										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	パイプハウス等を導入し、京野菜の産地規模の拡大に寄与するとともに農業経営の安定に資する。(府補助) 新規就農者に対して施設や機械導入を支援することで、次期の農業担い手を育成し産地拡大を目指す。(市補助)										
対象者	総農家数(2020農林業センサスデータ)	対象者数	3,081	単位あたりコスト	8.7						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	福知山ハウス部会、認定新規就農者ほか										
事業概要 (箇条書き)	ブランド京野菜の産地拡大を図る組織や新規就農者に対しパイプハウス、資材等導入の助成を行う。 (R03実績 府補助:パイプハウス14棟、市補助:新規就農者4名に対し、パイプハウス資材、管理機等の助成。)										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	負担金補助及び交付金	24,715	京野菜生産加速化事業補助金(府)24,119、京野菜生産加速化事業補助金(市)596								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	29,435	29,990	32,667	27,240			
	② 補正予算	0	△ 4,471	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
小計(①~③)	29,435	25,519	32,667	27,240				
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	28,595	24,529	31,677	26,250			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	840	990	990	990			
決算情報	① 流充用額	△ 6,974	0					
	② 配当予算	22,461	25,519					
	③ 執行額	22,292	24,715					
	④ 執行率	99.2%	96.8%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.19 / 0.00	0.27 / 0.00	0.27 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	1,520	2,160	2,160	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	23,812	26,875	2,160	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	京野菜生産加速化事業	種類	農林業費府補助金	実績金額	24,119	28	頁
		京野菜生産加速化事業基金繰入		基金繰入金	596	決算付属資料	40	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
		万願寺とうがらしの販売額	百万円	129 / 150	144 / 150	153 / 150	/ 150
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	施設園芸(パイプハウス増棟数)	棟	5 / 15	14 / 15	14 / 15	/ 15	15
	単位あたりコスト		1171.0	1592.3	1765.4		
	万願寺とうがらしの生産量	t	180 / 240	183 / 240	212 / 240	/ 240	240
	単位あたりコスト		32.5	121.8	116.6		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>計画的なパイプハウス等の導入による栽培面積の拡大を図り、農家の経営安定と京野菜を中心とした特産物の振興を図るために必要である。</p> <p>近年、夏期の高温など露地栽培が困難になってきているなかで、環境を制御しやすく、栽培期間の長い施設栽培のニーズが高まっており、安定した生産量を確保するためにも助成が必要である。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>京野菜の生産拡大には、資材やハウスの経費負担が一番の課題となっているため、この費用負担を軽減することが妥当である。</p> <p>補助率は同類の他事業と比較して、妥当な水準である。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>施設栽培(パイプハウス導入による)京野菜の生産性及び品質向上を図ることにより、市場や消費者等への高品質で安定した京野菜を供給するために有効である。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>パイプハウスは毎年一定数の導入があり、今後も安定した導入が見込まれる。特にこの事業を活用して万願寺とうがらしの生産者(新規就農者を含む)がパイプハウスを導入しており、高収益化が見込まれるブランド京野菜の生産拡大に寄与している。</p> <p>将来的に高齢化や後継者不足による栽培面積の減少が懸念されるが、今後もブランドとして京野菜の需要は大いに期待でき、担い手や新規就農者の推進を図ることにより、産地拡大を目指す。</p> <p>課題としては、要望に見合う府予算が確保できていない状況がここ数年続いており、農家が思うように生産拡大できない状況がある。</p>		
改善策	<p>要望に見合う予算措置を府へ要望していくとともに、生産者の規模拡大への意欲が減退しないよう生産者団体とも連携し、パイプハウス設置予定の一部を翌年度にするなど市に配分された予算を適切に執行する。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>京野菜の生産振興には施設や資材への支援が必要であり、本事業を活用し、生産面積拡大に寄与しているため、事業の継続は必要である。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	農業生産組織等指導強化事業			事業コード	210217						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進		施策コード	831						
事業担当	所属	2502000 産業政策部 農林業振興課		所属長	余田 学						
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	164	頁
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	地域農業担い手組織活動支援事業費補助金交付要領、農業生産組織等指導強化事業補助金交付要領、福知山市地域農業再生協議会活動補助金、福知山市農村女性活動支援事業補助金										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	経営所得安定対策等推進事業、農業振興推進事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	生産組織や担い手組織等の育成強化を通じて、生産農家の生産力強化及び販売力の向上を図る。										
対象者	総農家数(2020農林業センサスデータ)	対象者数	3,081	単位あたりコスト	2.3						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	福知山農業経営者会議、福知山市地域農業再生協議会、福知山市農村女性協議会										
事業概要 (箇条書き)	生産組織や担い手組織等の育成補助										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	負担金補助及び交付金	400	農村女性協議会活動支援事業補助金、地域農業担い手組織活動支援事業補助金、中丹米振興協議会負担金								
			地域農業再生協議会活動補助金、農業生産組織等指導強化事業補助金								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	1,079	989	1,076	1,107	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①~③)	1,079	989	1,076	1,107		
予算財源内訳	① 一般財源	1,079	930	973	989	
	② 国支出金	0	0	103	118	
	③ 府支出金	0	59	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	0			
	② 配当予算	1,079	989			
	③ 執行額	513	400			
	④ 執行率	47.5%	40.4%			
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.28 / 1.04	0.38 / 1.42	0.38 / 1.42	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	4,840	6,590	6,590	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,353	6,990	6,590	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	農産物年間生産数量	トン	375 / 520	408 / 520	集計中 / 520	/ 520	520
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	農産物年間生産者数(水田活用農家)	戸	607 / 1000	470 / 1000	433 / 1000	/ 500	1000
	単位あたりコスト		1.6	1.1	0.9		
	農業振興大会開催数	回	1 / 1	0 / 1	0 / 1	/ 農業生産組織等指導強化事業	
単位あたりコスト							

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	生産農家の生産力強化及び販売力の向上を図るため、生産農家の自主的な組織活動を支援し促進することは、必要である。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	各種団体の事業実施に対する支援を他事業を比較して妥当な水準で行っている。また団体の事業内容についてもコスト削減の観点から行うよう指導している。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	生産者相互の研鑽と連携の強化を図ることにより、生産性及び品質の向上を目指し、市場や消費者等への安心・安全な農産物の供給に必要である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	農業生産組織等の育成強化を図るために必要な施策である。今後においても、生産農家の生産力及び販売力向上のため、本事業において指導強化を図る。課題としては、生産農家が徐々に高齢化していくなか、加入者の高齢化、固定化が進むことが懸念される。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各組織において計画していた研修活動などが実施できなかったため、予算に比べ執行率が低くなっている。		
改善策	新規就農者等今後を担う人材に対し、生産者団体の活動を紹介するなど新たな加入呼びかけを促していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	各種組織の活動に対し、助成を継続する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	農産物価格安定対策事業			事業コード	210218						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進		施策コード	831						
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課		所属長	余田 学						
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	164	頁
計画期間	開始年度	昭和61年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	京都府野菜等経営安定対策事業実施要領、京都府豆類価格安定対策事業実施要領ほか										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (府制度の市負担分)										
関連事業	公設市場運営経費										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	特産野菜及び豆類の価格低下の際の価格補填を行うことで、特産作物の生産振興を図るとともに、特産作物の育成を通して地域農業の活性化を推進する。										
対象者	農業者(2020農林業センサスデータ)			対象者数	3,081		単位あたりコスト	0.4			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (負担金支出)										
委託先・実施主体等	公益社団法人京のふるさと産品協会										
事業概要 (箇条書き)	特産野菜及び豆類の価格低下の際の価格補填を行うための負担金を支出し資金造成を行う。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	負担金補助及び交付金	193		農産物価格安定対策事業負担金 110、京のふるさと産品協会会費 83							

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	1,765	1,245	811	751	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①~③)	1,765	1,245	811	751		
予算財源内訳	① 一般財源	1,765	1,245	811	751	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	△ 1,053			
	② 配当予算	1,765	192			
	③ 執行額	185	192			
	④ 執行率	10.5%	100.0%			
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.08 / 0.00	0.12 / 0.00	0.12 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	640	960	960	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	825	1,152	960	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	価格安定加入品目等の販売額	百万円	235 / 220	200 / 250	178 / 250	/ 250	250
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	資金造成品目	品	8 / 10	8 / 10	5 / 10	/ 5	5
	単位あたりコスト		25.9	23.1	38.4		
	単位あたりコスト		/	33 /	/	/	農産物価格安定対策事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	野菜等の粗収益(手取収入)が、事前の定めた保証基準額を下回った場合に、府、市町村、契約出荷団体、生産者があらかじめ積み立てた交付準備金から補給金を交付しており、産地育成に必要な制度である。	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	JA支店単位で、契約農家の作付計画を基に、必要な交付準備金を積み立てる。それぞれの団体から準備金の拠出がある。	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	保証対象は京ブランド野菜であり、需要拡大が見込まれる作物が多く、作物の金額保証を行うことで価格下落に対応できるため有効的な施策である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	対象生産者に補給金を交付し、野菜等生産農家の粗収益を一定水準に安定させる価格対策により、対象生産者の再生産を確保するとともに、生産振興対策と一体となった集団産地育成、保全を図る。		
改善策	平成30年度から開始された「収入保険」は、あらゆる作物の被害・損失に対応できるため、青色申告を行っている大規模農家が当事業から収入保険へ移行している。(収入保険と当事業は併用して加入できない) 当事業の対象である京ブランド野菜や豆類の生産者のうち、青色申告を行っておらず収入保険に加入できない小規模農家が安心して栽培できるよう支援することで、産地の維持・拡大に努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	京ブランド野菜や豆類の産地の維持・拡大のため、小規模生産者の支援を本事業により継続する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	京の水田農業確立支援事業			事業コード	210222						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進		施策コード	831						
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課		所属長	余田 学						
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	164	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	京の水田農業総合対策事業費補助金交付要綱										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	中山間地の多い本市において、実需評価が高く収益性のある小豆、黒大豆、特別栽培米、酒米等を生産するための農業機械導入に対する支援を行い、特産物の振興と農家所得の向上を図る。										
対象者	総農家数(2020農林業センサスデータ)	対象者数	3,081	単位あたりコスト	2.6						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	集落営農組織等										
事業概要 (箇条書き)	◇小豆、黒大豆、特別栽培米(低肥料、低農薬)、酒米等の生産拡大をはかるため、これらの作物生産に必要な農業機械導入に対する支援を行った(5団体)。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	負担金補助及び交付金	6,723	京の水田農業確立支援事業費補助金								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	7,495	22,080	9,679	11,929					
	② 補正予算	0	△ 13,707	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0	0					
小計(①~③)	7,495	8,373	9,679	11,929						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0	0					
	③ 府支出金	7,495	8,373	9,679	11,929					
	④ 地方債	0	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	△ 1,650							
	② 配当予算	7,495	6,723							
	③ 執行額	6,578	6,723							
	④ 執行率	87.8%	100.0%							
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.19 / 0.00	0.18 / 0.00	0.18 / 0.00	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	1,520	1,440	1,440	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	8,098	8,163	1,440	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	京の水田農業確立支援事業		種類	農林業費補助金	実績金額	6,723	決算付属資料	28	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	小豆栽培面積	ha	95 / 100	92 / 100	98 / 100	/ 100	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	助成組織数	組織	3 / 6	6 / 6	5 / 6	/ 4	6
	単位あたりコスト		1951.7	1096.3	1344.6		
	単位あたりコスト		/	35 /	/	/	京の水田農業確立支援事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>集落営農組織の存続・強化のためには農業用機械導入に対する補助事業が必要である。また、小豆などの生産に必要な機械導入へ支援を行うことで水稲からの転換を促し、米価の安定にも貢献している。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>補助率は同類の他事業と比較し妥当な水準である。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>導入機械の利用状況や組織の経営内容を把握している。機械を導入することにより、作業の効率化及び品質の向上を図ることができる。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>小豆や酒米などの土地利用型作物の栽培には大型機械が必須であり、これを支援することは集落営農組織の育成強化に有効である。また、そのことで主食用米の価格低下等により作付けされなくなっている水田が増える中、水田の有効活用及び保全を図ることができる。また農業用機械の購入は農家にとっては大きな負担となっている。高性能機械の導入を支援することにより、生産性の向上と組織の経営改善が期待できる。課題としては、農業者からの要望に対応するだけの府予算措置がなされておらず、思うように作業効率化、規模拡大が図れていない。</p>		
改善策	<p>できるだけ要望に見合う予算措置を府へ要望していくとともに、要望が通らなかった農業者に対しては他の補助制度を提案する。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>土地利用型作物の栽培面積拡大には大型農業用機械が必要であり、今後も機械化による省力化や労働時間短縮等を図る必要があり、本事業での支援は継続して必要である。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	「スイーツのまち福知山」事業			事業コード	210228						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進		施策コード	831						
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課		所属長	藤澤 稔						
会計情報	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	174	頁
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	スイーツフェスティバル事業補助金交付要綱、福知山市スイーツの森づくり支援事業補助金交付要綱										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	稼げる林業の確立を目指し、丹波くりの生産振興とブランド化支援を実施する。 また、丹波くりの魅力について発信することで、「スイーツのまち」PRIによる観光誘客の増加に寄与する。										
対象者	総農家数(2020農林業センサスデータ)	対象者数	3,081	単位あたりコスト	1.0						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	◇栗の新植・改植にかかる補助金の交付 補助率 1ha以上:1/2、1ha未満1/4 ◇スイーツフェスティバル実行委員会への補助金交付 (フェスティバルは新型コロナの影響で中止、スタンプラリー等の経費) <<経過>>◇平成25年度から、本市を「スイーツのまち」としてPRし観光誘客を図るため「スイーツフェスティバル」を開催してきた(観光担当課) ◇平成18年度から、「丹波くり」に対し『特用林産物』の一つとして、苗の購入補助や苗の配布等の支援を、京都府と共に行なってきたが、「丹波くり」の生産量は、5年間で1/3に減少した。 ・もともと付加価値の高い「丹波くり」を、「スイーツ」と結びつけ、「丹波くり」を使ったオリジナルスイーツを開発し、「スイーツのまち」の発信と併せてPRすることで、高値による栗の出荷先を増やし生産拡大と栗生産者の所得向上を図ることとした。										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	需用費	64	看板作成費用								
	負担金補助及び交付金	1,204	丹波くりの新植、改植に対する補助、スイーツに関するスタンプラリーに係る費用に対する補助								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	6,538	6,129	4,547	6,437				
	② 補正予算	△ 3,460	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	3,078	6,129	4,547	6,437					
予算財源内訳	① 一般財源	0	629	47	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	2,050	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	1,028	5,500	4,500	0				
決算情報	① 流充額	0	0						
	② 配当予算	3,078	6,129						
	③ 執行額	2,736	1,267						
	④ 執行率	88.9%	20.7%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.25 / 0.00	0.21 / 0.00	0.21 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,000	1,680	1,680	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,736	2,947	1,680	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	「スイーツのまち福知山」事業基金繰入(地域振興基金)	種類	基金繰入金	630	38	決算付属資料	40	頁
		「スイーツのまち福知山」事業基金繰入(豊かな森を育てる基金)		基金繰入金	573				

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	栗の生産量	t	24.8 / 42.6	集計中 / 47	集計中 / 47	/ 47	47
観光入客数	千人	1116 / 1000	890 / 1050	594 / 500	/ 500	1050	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	栗の新植面積	ha	3.5 / 4	4.9 / 4.5	2.2 / 4.5	/ 4.5	4.5
	単位あたりコスト		1060.8	558.4	575.9		
スイーツフェスティバル参加者数	人	/	0 / 7500	0 / 7500	/	-	7500

		単位あたりコスト					
--	--	----------	--	--	--	--	--

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	京ブランドとして府も推奨する「丹波くり」は、既に付加価値がある農産物であるため、市のブランド産品として売り出せるよう生産量を増やしていくために丹波くりの新植や改植に対する補助を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	生産量を一気に増やすため、大きく栽培面積を増やそうとする意欲的な農業者に対し、より高い補助率により補助することとした。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	JAを通さず自家出荷される農家が増えている中、正確な生産量を掴みにくくなっているが、栽培者に対する研修等に積極的に参加し、生産者との連携に努めた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	◇栗の生産者への新植、改植補助を実施し生産拡大を図ったが、1ha以上の広い栽培面積を確保される栽培者は少ない状況である。 ◇スイーツフェスティバルの開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となった。		
改善策	◇補助制度の積極的な広報や補助金の申請方法の分かりやすい説明をさらに行うことで、生産者にとって丹波くり生産者の掘り起こしに努める ◇また、栗の生産者とスイーツ店をマッチングするなどスイーツと丹波くりを連携した事業展開をする。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	丹波くりの生産者とスイーツ店をつなぎ、丹波くりの消費拡大とブランディングを目指し、生産者とスイーツ店を対象としたワークショップを実施予定

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	畜産関連事業			事業コード	210235						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進		施策コード	831						
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課		所属長	藤澤 稔						
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	04 畜産業費	会計	01 一般会計	決算付属資料	168	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	家畜伝染病予防法、畜産振興対策推進事業										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	家畜伝染病を防ぐことで地域の畜産農家の経営安定を図るため、畜産農家への巡回訪問を実施し、防疫指導等を行う。										
対象者	畜産農家	対象者数	23	単位あたりコスト	68.6						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	◇鳥インフルエンザ対策として、家きん農家への巡回訪問を行い、防疫指導を行う。 ◇畜産動物の伝染病の発生状況の把握、必要に応じて家畜伝染病の蔓延防止を行う。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績 (R3)	主な業務内容								
	旅費	4	出張旅費								
	需用費	94	消毒器材等の購入								
	負担金補助及び交付金	30	公益社団法人京都府畜産振興協会会費								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	133	131	131	132				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	133	131	131	132					
予算財源内訳	① 一般財源	83	86	86	87				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	50	45	45	45				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	133	131						
	③ 執行額	125	128						
	④ 執行率	94.0%	97.7%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.14 / 0.20	0.15 / 0.10	0.15 / 0.10	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,620	1,450	1,450	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,745	1,578	1,450	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	畜産振興対策事業	種類	農林業費補助金	実績金額	45	決算付属資料	28	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	伝染病等の発生件数	件	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	巡回指導等の回数	回	36 / 30	32 / 30	34 / 30	30	30
	単位あたりコスト		1.2	3.9	3.8		
	単位あたりコスト			40			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	本市の鶏飼養状況として、採卵鶏は約53万羽、ブロイラーは約42万羽を飼養しており、鳥インフルエンザが発生した場合、鶏肉や卵の供給不足や畜産農家の経営悪化につながる。市と中丹家畜保健衛生所が合同で小規模家きん農家約34戸を巡回指導し、鳥インフルエンザなどの適切な防疫を行う必要があるため、優先度は極めて高い。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	鳥インフルエンザの防疫として、養鶏場内へ野生鳥獣等の侵入防止を図ることが重要であり、巡回指導により飼養環境を直接確認する必要がある。鳥インフルエンザが発生した場合の殺処分に必要なコストに比べ、防疫を図るための消毒機材購入等のコストは非常に低い。購入コストについても、京都府の補助金を活用し、コスト削減を図っている。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	巡回指導の目標回数を30回と定め、鳥インフルエンザが流行する前(秋)に巡回指導を行うことで、有効な防疫指導を行っている。巡回指導実績は34回であり、目標を超えている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	鳥インフルエンザ等の家畜伝染病の感染防止を図ることで、畜産振興に大きく寄与している。		
改善策	中丹家畜保健衛生所と連携しながら家畜伝染病の蔓延防止を図る必要があるとともに、家畜伝染病が発生した場合の具体的な対応等について、関係機関と情報共有を行っていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	本市では野生イノシシの間で豚熱が蔓延しており、他府県においては鳥インフルエンザも発生している。鳥インフルエンザが本市で発生した場合、家きんの殺処分が必要となるため、地域の畜産業振興のためには、事業の継続により家畜伝染病の蔓延防止を図る必要がある。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	茶業振興対策事業			事業コード	210239						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進		施策コード	831						
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課		所属長	余田 学						
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	164	頁
計画期間	開始年度	昭和55年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	茶業振興対策事業実施要領(市・府)、宇治種改植加速化支援事業実施要綱(市・府)										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	稼げる農業の確立並びに地元特産品生産のために、茶生産農家が茶生産設備の整備することを支援し、品評会への出品を奨励することで、生産農家が優良均質で高品質な茶生産を行うことを促し、茶業経営の安定並びに本市の茶業振興を図る。										
対象者	市内茶生産農家			対象者数	9			単位あたりコスト	276.7		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	市内茶生産農家										
事業概要 (箇条書き)	◇他産地と差別化できる市場価値の高い「宇治種」の新改植の取組支援し、収益性の高い産地への転換を図ることを目的に、茶の新改植にかかる費用を助成した。 ◇茶品評会への出品奨励金を交付した。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	報償費	260		茶品評会出品奨励金							
	負担金補助及び交付金	630		宇治種改植加速化支援事業補助金(茶業振興対策事業)555, 両丹お茶まつり開催負担金75							

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,769	2,118	4,512	789				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	1,769	2,118	4,512	789					
予算財源内訳	① 一般財源	809	1,158	1,178	789				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	960	960	3,334	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	△ 265						
	② 配当予算	1,769	1,853						
	③ 執行額	1,335	890						
	④ 執行率	75.5%	48.0%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.14 / 0.00	0.20 / 0.00	0.20 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,120	1,600	1,600	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,455	2,490	1,600	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	茶業振興対策事業	種類	農林業費補助金	実績金額	555	28	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	荒茶生産金額	千円	49852 / 68000	45893 / 68000	40874 / 68000	/ 68000	68000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	茶業振興対策事業	事業	0 / 1	1 / 1	0 / 1	/ 1	1
	単位あたりコスト		-	1335.0			
	宇治種改植加速化支援事業		/	42 /	1 / 1	/ 1	0
単位あたりコスト				890.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>◇福知山地域を含む中丹地域で栽培する「両丹茶」は特産作物としてのブランド力があり、生産者である茶生産農家の製茶品質向上、茶生産量の向上及び効率的経営推進のために、生産設備整備を支援している。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>◇各事業の補助率は同類の他事業と比較して妥当な水準である。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>◇被覆棚等の整備や市場価値の高い「宇治種」の新改植により優良均質で高品質な茶生産を行うことにより、取引単価の上昇につながっている。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>◇成果実績(生産金額)は下降しているが、生産金額は販売単価と生産量が関係しているため、コロナ禍の影響により単価がコロナ禍以前まで戻っていないことが考えられる。単価が戻れば、生産金額の上昇は考えられる。 ◇品評会出品やお茶まつりの開催により特産物である「両丹茶」をアピールしている。本事業は生産農家の茶の品質及び生産力の向上につながる事業であり、「両丹茶」のブランド力向上につながっている。 ◇茶生産農家の高齢化等により、荒茶の生産量が減少傾向にある。</p>		
改善策	<p>◇生産農家の生産効率向上のための設備支援を行う。 ◇茶の新植・改植支援により、新規就農者の確保に努める。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>茶業の振興を図るため、支援を継続する。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	畜産経営安定化支援事業			事業コード	210253						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進			施策コード	831					
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課		所属長	藤澤 稔						
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	04 畜産業費	会計	01 一般会計	決算付属資料	168	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	R4現在の状況			継続中		
根拠法令等	福知山市家畜伝染病予防推進事業補助金交付要綱、福知山市家畜人工授精助成事業補助金交付要綱、福知山市優良牝牛導入促進事業補助金交付要綱										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	畜産農家の増頭意欲及び経営安定を目指すため、家畜の人工授精、伝染病予防、優良牝牛導入に係る経費の一部を補助する。										
対象者	農業協同組合			対象者数	1		単位あたりコスト	2,248.0			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	京都農業協同組合										
事業概要 (箇条書き)	◇家畜伝染病予防推進事業 家畜の健全な育成を図るため、家畜伝染病の予防を推進し畜産振興を図る。 ◇家畜人工授精助成事業 畜産農家の家畜改良、増頭の意欲の向上及び経営安定化を図る。 ◇優良牝牛導入促進事業 認定優良牝牛の導入を推進することにより、優良牛の生産を図り、農家の経営安定を図る。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	負担金補助及び交付金	1,128		家畜伝染病予防支援、家畜人工授精支援、優良牝牛導入促進支援							

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	1,068	1,130	1,181	1,287	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①～③)	1,068	1,130	1,181	1,287		
予算財源内訳	① 一般財源	1,068	1,130	1,181	1,287	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	0			
	② 配当予算	1,068	1,130			
	③ 執行額	1,048	1,128			
	④ 執行率	98.1%	99.8%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.14 / 0.20	0.14 / 0.00	0.14 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	1,620	1,120	1,120	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,668	2,248	1,120	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
		牛の飼育頭数	頭	341 / 400	330 / 400	320 / 400	/ 400
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	実施頭数(人工授精+伝染病予防)	頭	425 / 400	452 / 400	430 / 400	/ 400	400
	単位あたりコスト		2.4	2.3	2.6		
			/	44 /	/	/	

		単位あたりコスト					
--	--	----------	--	--	--	--	--

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	優良牝牛13頭の導入に要した費用の一部を支援し、良質な肉牛生産等が可能となり販売単価の上昇が見込めることで畜産農家の増頭意欲向上や経営安定化につながる。また、地産地消の推進も図ることができ、社会のニーズを的確にとらえた優先度の高い事業である。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	家畜伝染病の予防注射250回に要した費用の一部を支援し、病気に強い牛の増産を図ることは、伝染病予防に向けたハード面改修等への支援よりもコストは低く、コスト削減を図った支援となっている。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	事業所から提出された実績報告書に基づき、適切に履行されたことの確認を行っている。家畜人工授精及び家畜伝染病予防の活動実績の目標値を400回と定め、進捗状況の確認をおこなうことにも取り組んだ。活動実績は430回となり目標値を超えている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>少子高齢化により、畜産業を取り巻く環境は厳しさを増し、牛の生育頭数は減少しているものの、畜産経営の安定化に向けた支援を実施することで、畜産業の衰退を防ぐことに寄与している。</p> <p>また、地域の畜産農家を支援することで地産地消につながり、安全な肉牛の生産基盤を保持することにつながっている。牛の生育頭数が減少している要因としては畜産従事者の担い手不足などが課題として考えられる。</p>		
改善策	<p>課題として、畜産農家の経営安定や担い手の確保に向け、同様の支援を行う。また、『京の畜産応援隊』として本市も隊員登録を行ったところであり、関係機関と連携しながら、担い手候補や畜産農家へのアプローチを行っていく。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	畜産農家の経営安定を図ることで、飼養頭数の増加や後継者不足の解消が見込めるため、事業の継続により地域の畜産振興を図る。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	経営所得安定対策等推進事業			事業コード	210255						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進		施策コード	831						
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課		所属長	余田 学						
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	164	頁
計画期間	開始年度	平成22年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	京都府経営所得安定対策等推進事業実施要綱、福知山市経営所得安定対策等推進事業実施要綱、福知山市地域農業再生協議会補助金交付要綱										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	農業振興推進事業、農業生産組織等指導強化事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	「米政策改革の定着と水田フル活用の推進に向け、食料自給率・自給力の向上に資する麦、大豆、飼料用米等の戦略作物の自作化とともに、地域の特色をいかした魅力的な産地づくり、高収益作物の導入・定着等を支援する国の経営所得安定対策事業を有効利用することにより、本市の農業の振興を図る。										
対象者	農家数(水稲共済加入申込書兼営農計画書提出件数)			対象者数	5,475		単位あたりコスト	3.5			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	福知山市地域農業再生協議会										
事業概要 (箇条書き)	◇福知山市地域農業再生協議会幹事会、総会を開き、事業計画、産地交付金単価案を協議した。 ◇資料を作成し、農区長に配布。農区長を通じて、農家にリーフレットを配布し周知した。 ◇農業者へ交付申請等の指導、助言をし、申請手続きの支援を行った。 ◇水田台帳のデータ入力を行い、作付状況を把握し、対象作物の確認を行った。 ◇事業の実施に必要な情報の地方農政事務所等への情報提供システムの整備を行った。 ・協議会の運営に関する事務を行った。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	報酬	3,254		嘱託職員報酬及び臨時職員報酬							
	職員手当等	857		福知山市地域農業再生協議会担当職員の超過勤務手当等							
	旅費	14		説明会参加旅費							
	使用料及び賃借料	44		複写機使用料							
負担金補助及び交付金	5,485		福知山市地域農業再生協議会補助金								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	9,414	9,414	10,096	10,754					
	② 補正予算	0	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0	0					
小計(①～③)	9,414	9,414	10,096	10,754						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0	0					
	③ 府支出金	9,414	9,414	10,096	10,754					
	④ 地方債	0	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0	0					
決算情報	① 流用額	0	1,650							
	② 配当予算	9,414	11,064							
	③ 執行額	9,318	9,655							
	④ 執行率	99.0%	87.3%							
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	1.02 / 0.16	1.13 / 0.16	1.13 / 0.16	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	8,560	9,440	9,440	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	17,878	19,095	9,440	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	経営所得安定対策等推進事業		種類	農林業費補助金	実績金額	9,654	決算付属資料	28	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	不作付け水田の面積	ha	754 / 650	796 / 650	815 / 650	/ 650	650
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	経営所得安定対策加入者数	人	608 / 1200	470 / 1200	433 / 1200	/ 500	1200
	単位あたりコスト		15.3	19.8	22.3		
	単位あたりコスト		/	47 /	/	/	経営所得安定対策等推進事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	国の施策である経営所得安定対策事業を本市において運営するために必要な事業である。地域農業再生協議会委員に、地域の農業者代表が会員となり、総会会議等を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	地域農業再生協議会に補助金を支出し、協議会において書類作成の事務に関して、コスト削減に努めている。また、物品購入の際は、精査した上で購入し、支出を最小限に抑えている。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	市内の多くの農業経営者が加入し、令和3年度実績で約1億円の交付金を受けている。令和3年度は、33名の新規申請者がおられた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	農業法人、集落営農組織、担い手を中心に経営所得安定対策を有効に活用しているが、高齢化により農業者数が減少しており、不作付け水田が増加傾向である。		
改善策	不作付け地の増加を抑えるために、国の戦略作物(新規需要米・大豆・麦・飼料作物・加工用米)などの、より多くの水田を活用できる作物への上乗せ助成を検討し、農業者の規模拡大や経営の安定を促進する事により、地域の水田農業を維持していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	国の施策である経営所得安定対策事業を本市において引き続き実施する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	地場産農産物推進事業			事業コード	210337						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進		施策コード	831						
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課		所属長	余田 学						
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	164	頁
計画期間	開始年度	平成14年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市地産地消推進計画		R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	学校給食地場野菜導入支援事業実施要領、学校給食導入野菜出荷資金造成事業実施要領										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	稼げる農業の確立を目指し、地産地消(福知山産農産物を福知山市内で消費する)を推進することで、農薬・化学肥料を低減して作った地場産農産物(福知山産農産物)の生産拡大と環境に配慮した農産物の需要拡大を図る。										
対象者	農業者数(2020農林業センサスデータ)	対象者数	3,081	単位あたりコスト	2.7						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 () 負担金支払										
委託先・実施主体等	地場野菜生産出荷組合連絡協議会、農業者、京都府学校給食会										
事業概要 (箇条書き)	◇地場野菜の学校給食センターへの導入に対する支援 ◇学校給食の米飯に福知山産コシヒカリを使用し、府内産ブレンド米との差額負担 ◇福知山市地産地消推進協議会の開催 【学校給食地場野菜導入支援事業】 子どもたちの地域の農業及び農村に対する理解を深め、地産地消を推進することを目的として、エコファーマー認定品目の地場野菜を本市の学校給食に納入する生産者に対し、予算の範囲内において助成金を交付する。 【地場産米学校給食会活用支援事業】										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	負担金補助及び交付金	6,554	学校給食地場野菜導入支援事業補助金、地場産米学校給食活用負担金								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	4,734	5,364	6,452	10,128				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	4,734	5,364	6,452	10,128					
予算財源内訳	① 一般財源	4,734	5,364	6,452	10,128				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	702	1,318						
	② 配当予算	5,436	6,682						
	③ 執行額	5,436	6,554						
	④ 執行率	100.0%	98.1%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.18 / 0.29	0.14 / 0.29	0.14 / 0.29	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,165	1,845	1,845	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	7,601	8,399	1,845	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地場産農産物推進事業(きょうと地域連携交付金)	種類	農林業費補助金	実績金額	2,864	決算付属資料	28	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	学校給食への地場野菜納入率	%	17 / 23	14 / 23	19.2 / 23	/ 23	23
学校給食への福知山産米納入率	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100	100	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	学校給食センター地場産野菜導入支援品目	件	21 / 37	20 / 37	20 / 37	/ 37	37
	単位あたりコスト		54.2	271.8	327.7		
	単位あたりコスト		/	49 /	/	/	地場産農産物推進事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> ◇地元生産米・野菜を学校給食使用食材に納入することに対して、負担金・補助金を交付することにより、農産物生産者が農産物の納入先として学校給食使用食材を選択することを促す効果があり、地場産農物の生産促進に有効な事業である。 ◇地場産農作物の生産と需要の拡大を図るため、地産地消を推進することは農業者への支援のみならず、食育等教育の観点からも必要である。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> ◇学校給食への地場産米導入支援に関しては、ブレンド米と福知山産米の価格差を負担しており、基準は明確である。 ◇地場野菜導入支援に関しては、納入価格の1/2を補助金として交付しておりその他の補助事業と比較して妥当な水準である。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> ◇農産物生産者へ学校給食で使用する農産物への生産種類や納入量増加を依頼している。また学校給食使用食材へ納入していただける新たな農業者の確保を行っている。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ◇地場産農産物(福知山産農産物)の生産と需要の拡大を図るため、地産地消(福知山産農産物を福知山市内で消費する)を推進する目的で、主として学校給食への地場産農産物の導入を支援し、食育と需要拡大の両面から地場産農産物振興に寄与している。 ◇学校給食会計の公会計化に備え、地場産野菜等の窓口の統一が求められている。 ◇学校給食への地場野菜の納入率(重量ベース)は増加しているが、納入品目は減少している。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ◇市が事務局を担っている地場野菜生産出荷連絡協議会の体制を強化し、夜久野や大江の出荷団体とも調整を行い、出荷団体の一本化を図る。 ◇京都府農業改良普及センターとも連携し、生産者側からも給食センターに対して新たな品目の献立への採用と受け入れを働きかける。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	公設地方卸売市場事業特別会計が令和4年度で廃止となる予定であるため、来年度以降の卸売市場に福知山市として費用負担(事業履行)部分を予算計上している。(需用費、負担金補助及び交付金など)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	認定担い手農家育成助成事業			事業コード	210443						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進			施策コード	831					
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課		所属長	余田 学						
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	164	頁
計画期間	開始年度	平成16年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	認定担い手農家育成助成事業実施要領										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	担い手農家への農地集積を進めることで、経営規模拡大と効率化を支援し、担い手農家の経営の安定を図る。										
対象者	認定農業者	対象者数	154	単位あたりコスト	18.8						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	認定担い手農家の各年基準日における利用権設定面積が、過去最大面積よりも増加している場合に増加面積に対して助成する。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	報償費	2,570	認定担い手農家育成助成金								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,110	2,110	2,400	2,400				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	2,110	2,110	2,400	2,400					
予算財源内訳	① 一般財源	2,110	2,110	2,400	2,400				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	339	460						
	② 配当予算	2,449	2,570						
	③ 執行額	2,449	2,570						
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.03 / 0.20	0.04 / 0.00	0.04 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	740	320	320	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,189	2,890	320	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	認定担い手農家育成助成事業(きょうと地域連携交付金)	種類	農林業費補助金	実績金額	1,123	決算付属資料	28	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	担い手農家農地集積率	%	23.5 / 30	24.4 / 30	25.7 / 30	/ 30	30
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	担い手の農地集積面積	ha	28.7 / 20	24.5 / 20	25.8 / 20	/ 20	20
	単位あたりコスト		99.6	100.0	99.6		
	単位あたりコスト		/	51 /	/	/	認定担い手農家育成助成事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	農地の荒廃化防止において地域における担い手農家への期待は大きく、農地を守っていくために必要な事業である。	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	助成金の対象となる担い手ごとの利用権設定面積については、農業委員会事務局と連携し算定することで効率化に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	本事業の広報を行い担い手の農地集積を推進することで、担い手への農地集積率は着実に増加している。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	◇担い手が高齢化している中、集落営農組織等の担い手登録や育成、法人化の推進により、担い手を確保することが今後の地域農業の維持の要であり、本事業は担い手の育成及び農地集積に対し効果的な事業である。 ◇本事業は、担い手農家の農地集積を後押しする事業として、地域農業の維持に対し確実に成果をあげている。 ◇より農地集積に効果的な支援とするため、令和元年度に制度改正を行い、交付対象を前年に6年以上の利用権設定した面積(解約や期間満了し減少したものが反映されない)から、担い手ごとの総利用権設定面積の年間における増加分を対象とした。		
改善策	担い手農家のインセンティブとなるよう事業の周知を図り集積面積の拡大を図る。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	担い手農家の規模拡大を推進するため、事業の周知を図る。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	新規就農総合支援事業			事業コード	210445							
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進			施策コード	831						
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課			所属長	余田 学						
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	164	頁
計画期間	開始年度	平成7年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	新規就農者育成総合対策事業実施要綱、農業人材強化総合支援事業実施要綱、京都府就農研修資金償還金助成事業実施要綱、担い手養成実践農場整備支援事業実施要綱、福知山市農業次世代人材投資事業実施要綱											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	過疎・高齢化で農業従事者が減少する中、農業後継者・新たな農業者・中核的担い手の確保・育成を図る。あわせて、若者への就業意欲の喚起と新規就農者の定着により、農業就業者数の増加及び農業就業者の若返りを図る。											
対象者	新規就農者等			対象者数	37			単位あたりコスト	557.1			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	新規就農者、新規就農者後見人											
事業概要 (箇条書き)	【担い手養成実践農場整備支援事業】農業研修候補地を設定し、その農地で最大2年間農業研修を行うため、指導者や後見人を設置するとともに農機具の借り上げなど、研修に必要な条件整備を支援する。 【新規就農支援資金償還助成事業】就農研修終了後5年後においても本市で営農継続している場合、府就農研修資金償還にかかる経費を助成する。 【新規就農総合支援事業(人材投資資金)】就農時の年齢が50歳未満の独立・自営就農者に対して、経営開始から最大5年間資金を交付することで、就農直後の不安定な経営を支援する。 【経営継承・発展支援事業】地域農業の担い手の経営を継承し、発展させるための取組を支援することにより、将来にわたって地域の農地利用等を担う経営体を確保するため、経営継承・発展等の取り組みを支援する。											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	報償費	3		農業者メンター謝礼								
	負担金補助及び交付金	15,489		農業次世代人材投資事業補助金、担い手養成実践農場整備事業補助金、新規就農支援資金償還助成金								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	19,820	22,966	20,686	27,836				
	② 補正予算	0	△ 6,600	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	19,820	16,366	20,686	27,836					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	18,910	15,275	16,825	24,150				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	910	1,091	3,861	3,686				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	19,820	16,366						
	③ 執行額	18,420	15,492						
	④ 執行率	92.9%	94.7%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.48 / 0.48	0.49 / 0.48	0.49 / 0.48	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	5,040	5,120	5,120	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	23,460	20,612	5,120	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	新規就農総合支援事業補助金	種類	農林業費府補助金	実績金額	14,494	決算付属資料	28	頁
		ふるさと納税基金繰入金		基金繰入金		995		40	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	新規就農者の営農継続者数	人	32 / 30	33 / 30	35 / 30	/ 37	40
人材投資資金新規受給者数	人	0 / 5	2 / 5	2 / 5	/ 2	3	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	研修農場の設置	箇所	1 / 3	3 / 3	6 / 3	/ 3	3
	単位あたりコスト		18510.0	6140.0	2582.0		
研修資金償還助成対象者数	人	2 / 2	5 ₁ / 1	2 / 2	/ 2	新規就農総合支援事業	

	単位あたりコスト	4800.0	4800.0	4800.0		
--	----------	--------	--------	--------	--	--

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	国の新規就農者育成総合対策事業実施要綱に基づき、新規就農者の確保・継続支援を適切に実施した。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	就農者の営農状況確認においては、エリアをまとめて実施し効率化に努めた。主に国・府の事業であり、他市と比較した際の市負担の差はない。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	新規就農者の就農計画作成については京都府と連携し新規就農者と密に協議を行ったうえで、将来的に農業で自立できる計画の作成に努めている。人材投資資金の受給については、農業経験や研修のある者を対象としており、新規の就農相談は増加傾向にあるがまずは研修を勧めていることから受給者数は目標値を下回っている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	農業を志す人を対象に、経営開始前の研修事業による支援や、経営開始後は、就農直後の不安定な経営に対する資金面での支援の他、サポート体制を整備し定期的な訪問を行うことにより、新規就農者の育成・定着に効果的な事業である。		
改善策	移住・定住担当課や農業委員会と連携し新規就農者の確保を図るとともに、研修を終えた農業者に対して就農計画作成のサポートを行い、計画認定後は就農支援資金の交付及び京都府と連携し定期的な訪問による計画の進捗状況の確認と営農指導を行い、新規就農者の定着を図る。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	移住定住担当課や農業委員会との連携により新規就農者の確保を図るとともに、地域や京都府等の関係機関との連携による定着支援を継続する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	稼げる農業応援事業			事業コード	210453						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進		施策コード	831						
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課		所属長	余田 学						
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	164・166	頁
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和5年度	関連計画名			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	産業支援事業、販路開拓支援事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	自ら「稼ぐ」ことに取り組み、将来展望を切り開こうとする意欲ある農業者を支援することで、農業で稼げるモデルを作り、農業が魅力的な就業先の一つとなることを目指す。										
対象者	ふくちやまのエエもん認定品の生産者(令和3年度末)			対象者数	20		単位あたりコスト	664.5			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	㈱グッドテーブルズ、合同会社ネイビープランニング、㈱デリー・インフォメーション関西、㈱ファイル二十一、㈱柴田書店、㈱福知堂										
事業概要 (箇条書き)	①ふくちやまのエエもん発掘事業 ふくちやまのエエもんを含む福知山産食材を使った食事会(11/14、15) 発掘審査会開催(3/9鑑定会) ふくちやまのエエもんPRのための雑誌広告掲載										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	報償費	1,289	鑑定会審査員謝礼、食事会調理謝礼等								
	旅費、役務費	111	食事会への旅費等								
	需用費	1,062	食事会食材費等								
	委託料	3,952	ふくちやまのエエもん発掘業務委託1,873, 雑誌掲載委託495他								
使用料及び賃借料	475	食事会会場使用料、駐車料等									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	5,881	13,807	7,308	5,691				
	② 補正予算	0	△ 5,052	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	5,881	8,755	7,308	5,691					
予算財源内訳	① 一般財源	3,132	4,653	4,098	3,164				
	② 国支出金	2,749	4,102	3,210	2,527				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	5,881	8,755						
	③ 執行額	3,691	6,890						
	④ 執行率	62.8%	78.7%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.40 / 0.00	0.80 / 0.00	0.80 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	3,200	6,400	6,400	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	6,891	13,290	6,400	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	稼げる農業応援事業(地方創生推進交付金)	種類	農林業費国庫補助金	実績金額	3,293	決算付属資料	18	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	農業所得が対前年度比5%UPLした認定者	人	0 / 11	0 / 17	3 / 17	/ 22	17
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	エエもん認定品	品	7 / 3	6 / 6	5 / 5	/ 5	6
	単位あたりコスト		1183.2	615.2	1378.0		
	GAP認証を取得する農業者	経営体	1 / 2	0 / 2	0 / 3	/ 2	3
単位あたりコスト		8282.6					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	エエもん認定品を外へアピールするためにエエもん認定品を使用した食事を開催した。食事会の様子は料理専門雑誌に掲載され、また、食事会に参加していた編集者の料理専門雑誌のセレクション事業を紹介されるなど新たなつながりを持つことができた。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	新型コロナウイルス感染症の影響で商談会や販売会といった認定者個別の販路開拓の機会設けることができなかったため、料理雑誌にエエもん認定品を掲載した。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	5品を認定し認定品の総数は22品となった。その中には審査員の方が実際自分のお店で使用するようになったものもあり、今後の販路開拓につなげていきたい。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	近年新型コロナウイルス感染症の影響もあり、商談会、展示会といった外向きの販促活動ができていない。エエもん認定品の知名度がまだまだ低いと考えられる。		
改善策	都市部での販路拡大を行うための商談会について、どの商談会がより販路拡大につながるか有効かの情報収集する。市内で販売促進につながるエエもん認定品の販売スペースの確保や、スマホ等を利用したSNSによる情報発信をする。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	R5年度までセカンドステージとして販路拡大をすすめる。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	農地中間管理事業			事業コード	210460						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進		施策コード	831						
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課		所属長	余田 学						
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	166	頁
計画期間	開始年度	平成26年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	農地中間管理事業の推進に関する法律、福知山市農地中間管理事業交付金交付要領										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	農地中間管理機構に対し、農地を貸し付けた地域及び個人を支援することにより、農地中間管理機構を活用した担い手への農地集積・集約化を推進し、荒廃農地の抑制を図る。										
対象者	農業者(2020農林業センサスデータ)			対象者数	3,081		単位あたりコスト	1.9			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	農地を中間管理機構に貸し付けた者・地域										
事業概要 (箇条書き)	農地中間管理機構に農地を貸し付けた、地域及び個人へ助成を行う。										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	需用費	36		事務用消耗品							
	役務費	36		郵送料							
	使用料及び賃借料	70		複写機使用料							
	負担金補助及び交付金	565		地域集積協力金、経営転換協力金							

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	5,339		2,544		1,954		3,448			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①～③)	5,339		2,544		1,954		3,448				
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		188			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	4,695		1,900		1,610		1,610			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	644		644		344		1,650			
決算情報	① 流充用額	△ 2,873		0							
	② 配当予算	2,466		2,544							
	③ 執行額	825		707							
	④ 執行率	33.5%		27.8%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.91	/	0.88	0.39	/	0.80	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	9,480		5,120		5,120		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	10,305		5,827		5,120		0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	農地中間管理事業補助金		種類	農林業費府補助金		実績金額		565	28	頁
		農地中間管理事業受託事業収入			農林業費受託事業収入		142		決算付属資料		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標	
	機構への農地集積面積	ha	26.4	/	100	10.2	/	100	10.2	/	100	12
			/		/		/	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標	
	地域集積協力金	地域	3	/	5	3	/	5	3	/	5	5
	単位あたりコスト		972.9		275.0		235.7					
		人	/		58	/		/				
	単位あたりコスト		-									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	農地中間管理事業の推進に関する法律に基づき実施しており、農業者の高齢化・耕作放棄地の拡大が進む中で、地域農業を支える担い手に農地を集積・集約し、効率的で安定した営農に寄与している。	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	利用権設定に必要な書類の作成事務に関して、市と農地中間管理機構で役割を分担し事務の効率化を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	農地の所有者や農区に対し農地集積へのインセンティブとなる事業であり、毎年度の積み重ねにより集積面積は着実に増加している。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	農地中間管理機構による農地集積は着実に増加している。一方、目標とする年間100haの農地集積には届いていないが、これらは平成26年度の制度創設以来、一定の活用が進んでいることによるものであり、令和4年度以降の年度あたりの農地集積面積の目標は現状の10haから20%増加の12haとする。なお、地域集積協力金及び経営転換協力金について、集積率等の事業要件を満たす地域が見込みよりも少なかったため、予算に比べ執行率が低くなっている。		
改善策	本制度は借り手となる担い手の事務的負担が軽減できるものであり、このメリットを周知し本事業の活用を推進する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和5年度以降、地域計画策定地区は農地賃貸借の権利移動は、農地法第3条に基づくものか農地中間管理事業により行うこととなるため、対象件数、面積が大幅に増加することが見込まれる。地域において本事業を有効に活用できるよう指導するとともに、急増する事務件数に円滑に対応できるよう体制整備を図る。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	農業者経営復興特別支援資金等償還助成事業			事業コード	210462						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進		施策コード	831						
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課		所属長	余田 学						
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	166	頁
	計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和11年度	関連計画名			R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	農業者経営復興特別支援資金等償還助成事業実施要領(府)、農業者経営復興特別支援資金等償還助成金交付要綱(市)										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	H25年台風18号等により被災した方が、営農を断念することなく引き続き継続することが目的である。										
対象者	京都府等から資金を借りた者			対象者数	7		単位あたりコスト	320.0			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	資金借入者										
事業概要 (箇条書き)	H25年台風18号等の被災時に京都府の復興・継続支援資金を借り入れた者に対し償還助成を行う。(償還期間：R2～R11)										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	負担金補助及び交付金	1,280		農業者経営復興特別支援資金等償還助成金							

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	320	1,920	1,600	1,600				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	320	1,920	1,600	1,600					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	320	1,920	1,600	1,600				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流用額	0	0						
	② 配当予算	320	1,920						
	③ 執行額	320	1,280						
	④ 執行率	100.0%	66.7%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.06 / 0.00	0.12 / 0.00	0.12 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	480	960	960	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	800	2,240	960	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	農業者経営復興特別支援資金等償還助成金	種類	農林業費補助金	実績金額	1,280	決算付属資料	28	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	償還対象者の営農継続	経営体	/	/	8 / 8	7 / 8	/ 7
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	助成実績	件	/	1 / 1	4 / 6	/ 5	6
	単位あたりコスト		/	320.0	320.0	/	
	単位あたりコスト		/	60	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	京都府の農業者経営復興特別支援資金等償還助成事業実施要領に基づき、被災農業者の支援事業として適切に実施した。	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	被災農業者が借り入れた資金の償還に対し、京都府農業者経営復興特別支援資金貸付等要綱に定められた助成金を支出した。	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	京都府要領に基づき償還助成を行い、被災農業者の支援を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	事業活用者については、被災後順調に復興し、営農を継続しているが、1経営体については死亡により営農継続不可となり、要綱に基づき相続人が全額償還されたため、償還助成は実施していない。		
改善策	要綱に基づき、営農の継続を確認したうえで、全ての償還が終了するまで助成を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	事業対象者が償還終了するまで営農継続するよう指導・支援を行い、助成を継続する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	林業の担い手支援事業			事業コード	210463						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進		施策コード	831						
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課		所属長	藤澤 稔						
会計情報	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	174	頁
計画期間	開始年度	平成6年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	緑の担い手支援事業補助金交付要綱、福知山市林業労働者新共済事業補助金交付要綱										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	稼げる林業の確立を目指し、森林管理、森林整備の主要な事業体(森林組合など)の作業員を安定的に確保・雇用するため、新規就労者に対する助成及び、労働環境改善に対する経費、並びに作業員の退職金掛金の一部を助成する。										
対象者	林業労働者			対象者数	23		単位あたりコスト	202.5			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	-										
事業概要 (箇条書き)	◇森林組合、林業事業体などに対して、新規就労者支援として新規就労者の林業に必要な機械器具等を貸与するための費用の一部を支援する。 ◇森林組合、林業事業体などに対して、労働環境改善として健康診断や振動病健診などに要する費用の一部を支援する。 ◇林業労働者の退職金助成として、国及び府の制度を活用し支援する。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	負担金補助及び交付金	2,097		新規就労者に必要な機械器具や労働環境改善に係る費用等に対する補助							

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	2,612	2,398	9,846	12,152			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
小計(①~③)	2,612	2,398	9,846	12,152				
予算財源内訳	① 一般財源	1,716	1,666	8,328	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	896	732	1,118	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	0	0	400	0			
決算情報	① 流充用額	0	0					
	② 配当予算	2,612	2,398					
	③ 執行額	2,019	2,097					
	④ 執行率	77.3%	87.4%					
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.10 / 0.00	0.32 / 0.00	0.32 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	800	2,560	2,560	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,819	4,657	2,560	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	林業の担い手支援事業(緑の担い手育成)	種類	農林業費府補助金	実績金額	602	28	頁
		林業の担い手支援事業(林業労働者新共済)		農林業費府補助金		154	28	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	森林整備面積(市全体)	ha	266 / 565	181 / 587	集計中 / 587	/ 587	587
新規就労者	人	2 / 2	2 / 2	1 / 2	/ 3	2	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	対象作業員数	人	21 / 39	23 / 41	23 / 30	/ 25	41
	単位あたりコスト		100.7	87.8	91.2		
	単位あたりコスト			62			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	林業の作業員確保は喫緊の課題であり、森林管理・森林整備の主要な事業者(森林組合など)の作業員を安定的に確保・雇用するため、新規就労者の支援と路同環境の改善に対する支援を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	補助対象経費の根拠となる詳細な資料の提出を求め、コストを考慮し審査を行った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	森林整備を推進するため、新規就労者に対する助成や労働環境改善に対する経費の助成等を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>◇新規就労者に対する助成や労働環境改善に対する経費の助成等により、作業員の雇用の安定に資することができた。</p> <p>◇新規就労者は一定確保できているが、その数を上回る退職者がいる年度もある現状がある。年齢化は伴っていくので、引き続き新規の就労者確保が必要である。</p>		◇就労者の高
改善策	<p>◇新たな担い手の確保を目的に、令和4年度から、自伐型林業者向け研修の開催やインターン生の誘致に対する事業者への支援を実施する。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和4年度から新たに取り組んでいる「自伐型林業者」に対する研修を引き続き行うとともに、新たに国や府の補助の対象とならない、幅員の狭い作業道の瀬設置や整備に関する補助金を設置することで、個々で行われる林業者の増加を目指す。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	スマート農林水産業実装チャレンジ事業			事業コード	210508						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進		施策コード	831						
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課		所属長	余田 学						
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	166	頁
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市スマート農林水産業実装チャレンジ事業補助金交付要綱、スマート農林水産業実装チャレンジ事業補助金交付要領(府)										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	スマートシティ推進事業(有害鳥獣捕獲)										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	過疎高齢化による農林水産業の担い手減少に対応するため、AI・ICT(情報通信技術)等先端技術の生産現場への実装を加速化し、作業性及び品質・生産性を向上することにより、農林水産業の成長産業化、魅力向上及び農山漁村コミュニティの維持を目指す。										
対象者	総農家数(2020農林業センサスデータ)	対象者数	3,081	単位あたりコスト	4.6						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	ライブリッツ株式会社、3戸以上の農業者等で組織する団体、個別経営体(認定農業者等)等										
事業概要 (箇条書き)	◇限られた労働力で効率的に作業性と品質・生産性を向上するための「スマート農業」機械・設備の導入に係る経費について助成を行い、食味センサー付きコンバインや日射比例灌水制御など2台の機械・設備導入に対し助成を行った。 ◇中山間地域におけるICTを活用した農業所得の向上策について、アンケート調査やワークショップを実施することで検討し、生産者と消費者との情報伝達手段を導入することとした。										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	役員費	5	ボランティア保険料								
	委託料	4,400	課題調査業務委託								
	負担金補助及び交付金	5,062	スマート農林水産業実装チャレンジ事業費補助金								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	10,590	20,140	9,822	11,400				
	② 補正予算	2,042	△ 9,445	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	12,632	10,695	9,822	11,400					
予算財源内訳	① 一般財源	0	5,100	1,920	2,100				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	12,632	5,595	7,902	9,300				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	12,632	10,695						
	③ 執行額	12,403	9,467						
	④ 執行率	98.2%	88.5%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.16 / 0.00	0.60 / 0.00	0.60 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,280	4,800	4,800	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	13,683	14,267	4,800	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	スマート農林水産業実装チャレンジ事業	種類	農林業費補助金	実績金額	5,062	決算付属資料	28	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	機械導入台数	台	6 / 6	5 / 5	2 / 5	/ 6	-
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	助成組織数	組織	5 / 5	5 / 5	2 / 5	/ 6	-
	単位あたりコスト		3069.0	2480.6	4733.5		
	単位あたりコスト		/	64 /	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>過疎高齢化が進行するなかで、担い手の確保・育成のためにはICTを活用した農業用機械等の導入に対する支援が必要である。スマート技術を利用した農機具は従来のものより導入コストが大きい。また、機械補助事業の財源は京都府のものであり、市としてはスマート農業を実施したい農業者の相談を受け、補助へとつなぐ役割を担う。</p>	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>補助率は同類の他事業と比較して妥当な水準である。導入すべき機械が適切であるかどうか、補助を希望する農業者から現在の状況や今後の営農計画を示していただくことが補助の要件の一つとなる。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>導入機械の利用状況や組織の経営内容を把握している。労働力が限られているなかで、機械を導入することにより、作業の効率性と品質・生産性の向上につながるため。スマート農業機械導入に関する周知を行い、補助を必要とする農業者に働きかけが必要。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>農業用機械等の導入支援を行うことで、担い手の育成・確保及び農地集積の促進を図ることができた。農業の後継者不足や高齢化が課題となる中、スマート農業機械の導入を支援することにより、生産性の向上と担い手の経営改善が期待できるため、今後も継続して支援を行う必要がある。補助対象者の採択は府が行うため市が予算化・要望してもその通り補助することができない。AI・ICT等のスマート技術を利用することに抵抗感がある高齢の農業者に対して、技術を取り扱う敷居の高さを解消する必要がある。</p>		
改善策	<p>AI・ICT等のスマート技術を高齢の農業者が抵抗感なく取り扱えるよう、伴走支援する必要がある。特にスマートフォンを用いる機会があるものについては、講習会等を実施し、使用方法を覚えてもらえる体制を整えることが必要。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>R4年度に引き続きICTを活用した農業機械の導入支援、販売促進の実証実験を継続する。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	農業生産施設緊急復旧対策事業				事業コード	210564					
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立					
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進			施策コード	831					
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課			所属長	余田 学					
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁	
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和4年度	関連計画名			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	農業者等営農継続緊急支援事業(府)、福知山市農業生産施設緊急復旧対策事業実施要綱										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	令和3年12月以後の豪雪により被災し、厳しい経営状況にある農業者等の生産回復・経営再開に向けた取組を支援することで、農林業の推進を図る										
対象者	被災農業者			対象者数	31		単位あたりコスト	0.0			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	◇令和3年12月及び令和4年1月の豪雪によりパイプハウスや果樹棚などが被災した農業者等に対して施設の復旧を支援する										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容						

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	0	0	0	0	0	0	0			
	② 補正予算	0	57,797	0	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	△ 57,797	57,797	0	57,797	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	57,797	0	0	0			
	次年度繰越	0	△ 57,797	0	0	0	0	0			
小計(①～③)	0	0	0	57,797	0	0	0				
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	24,026	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	33,771	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0	0							
	② 配当予算	0	0	0							
	③ 執行額	0	0	0							
	④ 執行率										
人概工算	① 従事職員数 (正職員/非常勤嘱託職員)	0.00 / 0.00	/ 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	0	0	0	0	0	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	0	0	0	0	0	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	営農継続数	経営体	/	/	/	/	31
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	復旧施設数	件	/	/	/	/	50
	単位あたりコスト		/	66 /	/	/	
	単位あたりコスト		/				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>雪害により、農業生産施設が被災したことに対して復旧を支援することで、被災前と変わらずに農業生産を継続できる。また、再建時に補強工事を施すことを条件とすることでパイハウス等施設の倒壊リスクを下げ、同等の雪害が発生したときの被害を抑える目的がある。</p> <p>農業共済等の保険加入者については更なる手厚い支援として実施。果樹園については保険が無いものもあるため、そういった場合の被災者支援として実施している。</p> <p>農繁期に向けて早急な復旧が求められる施設もあるため、優先度は高い。</p>	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>共済保険の加入の有無により補助率を変更しており、日ごろからリスクに備えていながらも被災したかたには、手厚い支援を行うこととしている。</p> <p>被災農家とは十分な聞き取りを行い、費用の見積もりを提出していただくことで、適切な補助が行えるようにしている。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>予期せぬ被災により営農をあきらめることのないよう、支援を行っている。</p> <p>京都府が実施する補助金に市予算により上乗せして補助を行い、手厚く補助をすることで営農の継続を支援している。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>大雪により倒壊した農業用施設を早期に復旧する支援を行うことで、被災農業者だけでなく周囲の農業者に対しても農業に対する支援の姿勢を示すことができています。</p> <p>一方で、農業者の高齢化により多少の自己負担を支出してまで復旧する意思のない方もいる。</p>		
改善策	<p>施設の復旧が困難な方に対しては少なくとも離農することのないよう、普及センターとも連携し寄り添って支援する。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —)	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充	<input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	--	---	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	中山間地域等直接支払交付事業			事業コード	210568						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進		施策コード	831						
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課		所属長	余田 学						
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	166	頁
計画期間	開始年度	平成12年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する計画		R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律、中山間地域等直接支払交付金実施要領、京都府中山間地域等直接支払交付金等交付要領、福知山市中山間地域等直接支払交付金交付要領										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	多面的機能支払交付事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	担い手の減少や高齢化の進行だけでなく、傾斜等による農業生産条件が不利なことにより、荒廃農地の増加や多面的機能の低下が懸念される中山間地域等において、荒廃農地の発生を防止し、農業生産の維持を通じて、水源涵養、洪水防止をはじめとした多面的機能の維持・発揮を図る。										
対象者	集落協定参加者	対象者数	2,196	単位あたりコスト	60.0						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	集落協定締結団体、(株)パスコ京都支店										
事業概要 (簡易書き)	◇集落協定に基づき、5年間継続して農業生産活動等を行う取組に対して交付金を交付する。 ◇対象農用地は特定農村法、農村振興法、過疎法など9法で指定された地域及び、知事特任地域(本市締結地域:下猪崎、下豊富、上豊富、佐賀)の地域のうち、傾斜を満たす1ha以上の農用地。 ◇交付金は地目、傾斜に応じて10a当たりで交付され、交付単価は集落が定める活動によって異なり、基礎単価(8割)と体制整備単価(10割)がある。 (交付単価:①田 1/20以上:16,800円 1/100~1/20:6,400円 ②畑 15度以上:9,200円 8~15度:2,800円) ◇地域農業の維持・発展に資する一定の取組を行う場合には、交付単価に所定額が加算される加算措置がある。 (①棚田地域振興活動加算②超急傾斜農地保全管理加算③集落協定広域化加算④集落機能強化加算⑤生産性向上加算)										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	報酬・職員手当等	682	会計年度任用職員報酬・職員手当								
	需用費・役務費	295	事務用消耗品・郵送料								
	委託料	110	管理システム保守業務委託料								
	使用料及び賃借料等	359	複写機及びプリンター賃借料・レンタカー経費								
	負担金補助及び交付金	119,471	中山間地域等直接支払交付金								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	127,570	119,380	122,958	125,961				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	127,570	119,380	122,958	125,961					
予算財源内訳	① 一般財源	32,898	32,460	33,494	34,257				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	94,672	86,920	89,464	91,704				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	1	1,767						
	② 配当予算	127,571	121,147						
	③ 執行額	120,316	120,917						
	④ 執行率	94.3%	99.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.94 / 0.32	1.26 / 0.32	1.26 / 0.32	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	8,320	10,880	10,880	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	128,636	131,797	10,880	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	中山間地域等直接支払交付事業補助金	種類	農林業費府補助金	実績金額	88,805	決算付属資料	28	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
		協定による農地保全面積	ha	944 / 1010	862 / 1010	866 / 1010	/ 870
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	集落協定数	協定	67 / 67	64 / 67	64 / 67	/ 67	67
		単位あたりコスト	1903.9	68 1879.9	1889.3		
			/	/	/	/	

		単位あたりコスト					
--	--	----------	--	--	--	--	--

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>中山間地域の条件の不利な農用地の維持を目的とした事業であり、地域農業維持のために地域が実情に応じて活用できるほか、加算措置の活用により幅広く地域連携体制の支援を行っている。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>交付金交付対象面積が大きいため、要領に定められた現地確認を行うために多くの時間を要するが、地図情報システムの活用や多面的機能支払交付事業との連携等により効率化、省力化に努めている。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>交付金の用途は個人配分のほか、農道水路等の維持管理、共同機械の購入、獣害対策、耕作放棄地の解消をはじめとして集落の創意工夫のもと集落共同活動を実施するために活用することができ、農業を利用した都市間交流やイベント等、地域農業の維持・活用化に寄与している。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>令和2年度より第5期対策がスタートしたが、第4期対策(H27～R1)と比較し、協定数が3協定、協定面積が82ha減少している。第5期対策の1年目(R2)と2年目(R3)を比較すると協定数の増減はないが、協定面積は3.4ha増加し、わずかながら拡大傾向にあるが、全体としては担い手不足は依然として深刻である。しかし、本事業を通して協定内で共同して農用地を維持する活動を推進することで、荒廃農地の増加抑制に繋がる有効な対策である。</p>		
改善策	<p>本市の第5期対策の協定参加者のうち65歳以上が68%を占めており、高齢化による担い手不足が今後ますます加速することが懸念されるなか、今期の第5期対策より交付金返還措置の見直しや加算措置の新設等、農業者が安心して取り組めるよう事業の見直しがされた。これらの制度改正を活用し、集落とその農用地を維持することで荒廃農地の増加を抑制する。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>本事業は荒廃農地の増加抑制に有効であるため、継続して実施する。 63協定それぞれの現状把握に努め、加算措置等の活用など、各集落協定に沿った支援を継続する。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	農業振興推進事業			事業コード	210569						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進		施策コード	831						
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課		所属長	余田 学						
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	166	頁
	計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	R4現在の状況		継続中		
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	地域の農業者と市とが連絡を密にし、地域における農業政策の円滑な推進を図る。										
対象者	農区長			対象者数	248		単位あたりコスト	36.9			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	地区営農推進協議会										
事業概要 (箇条書き)	◇農区長に対する事務委嘱要綱により市の事務を委嘱した。 ◇農区長を5年間就任者、3年間就任者に表彰状と記念品を贈った。 ◇農区長に実施事務手当とした報償金を支払った。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目		支出実績(R3)		主な業務内容						
	報酬		4,358		農区長報酬						
	報償費		1,275		農区長会記念品、地区営農推進協議会活動支援事業報償費						
	需用費		24		消耗品費等						
	役務費		224		郵送料等						
負担金補助及び交付金		782		地区営農推進協議会活動支援事業補助金							

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	8,042		8,070		8,013		8,773			
	② 補正予算	200		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①～③)	8,242		8,070		8,013		8,773				
予算財源内訳	① 一般財源	8,242		8,070		8,013		8,773			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	0		0		0		0			
決算情報	① 流充用額	0		0							
	② 配当予算	8,242		8,070							
	③ 執行額	7,010		6,663							
	④ 執行率	85.1%		82.6%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.34	/	0.00	0.31	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	2,720		2,480		2,480		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	9,730		9,143		2,480		0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	活動に協力した農区長数	人	248 / 248	248 / 248	247 / 248	248	248
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	農区長会開催数	回	1 / 3	0 / 3	0 / 1	0	3
	単位あたりコスト		5309.6				
	単位あたりコスト			71			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	申請書の配布・回収や農区回覧等を依頼することで、農行政策をより円滑に進められるようになっている。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	農区ごとに各農家への資料配布や回収等を農区長へ依頼することで、時間やコストの削減につながっている。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	農区長会については新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止とした。 1農区については農区長不在のままである。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	本市の農業政策の検討と円滑な推進を図るために、地域の農区長の協力が不可欠であるため、継続して事業を実施することができている。農業後継者の不足や高齢化により、農区長の選任が難しい農区もあり、かろうじて農区長に就任していただいているような農区も存在している。		
改善策	地域の農業委員や農地利用最適化推進員、また集落営農などの農業法人とも連携することで、地域に対する農林行政等の情報発信が出来るようにしていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	R4年度から全体での農区長会を廃止したところであり、より一層全246農区との連携が密になるように継続して努める。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	多面的機能支払交付事業			事業コード	210576						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進		施策コード	831						
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課		所属長	余田 学						
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	166	頁
計画期間	開始年度	平成19年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する計画		R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律、多面的機能支払交付金実施要領、農と環境を守る地域共同活動支援事業交付金交付要綱、福知山市多面的機能支払交付金交付要領										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	中山間地域等直接支払交付事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	農地・農業用施設の保全管理のための地域の共同活動や、自然環境の保全に資する農業生産活動を推進することにより、農業・農村の有する多面的機能(国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観形成等)の維持・発揮を図る。										
対象者	多面的機能支払交付事業活動組織			対象者数	55		単位あたりコスト	3,096.2			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	対象事業実施活動組織、(株)パスコ京都支店										
事業概要 (箇条書き)	農地の多面的機能を支える共同活動や農地・水路・農道等の質的向上を図る共同活動の取組を支援する。 ◇農地維持支払交付金 水路の泥上げ、農道の路面維持等の多面的機能を支える共同活動への支援 ◇資源向上支払(共同)交付金 水路・農道・ため池など軽微な補修や、生態系保全、景観形成等の共同活動への支援 ◇資源向上支払(長寿命化)交付金 未舗装農道の舗装や水路の補修工事等の農業用施設の長寿命化のための活動への支援										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	報酬・職員手当等	613		会計年度任用職員報酬・職員手当							
	需用費・役務費	416		事務用消耗品、郵送料							
	委託料	110		管理システム保守業務委託料							
	使用料及び賃借料等	445		複写機及びプリンター賃借料・レンタカー経費							
	負担金補助及び交付金	161,428		多面的機能支払交付金							

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	164,943	174,887	176,518	177,152				
	② 補正予算	0	△ 9,421	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	164,943	165,466	176,518	177,152					
予算財源内訳	① 一般財源	41,536	43,190	44,335	44,551				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	123,407	122,276	132,183	132,601				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	△ 1	△ 2,227						
	② 配当予算	164,942	163,239						
	③ 執行額	163,678	163,012						
	④ 執行率	99.2%	99.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	1.01 / 0.32	0.81 / 0.32	0.81 / 0.32	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	8,880	7,280	7,280	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	172,558	170,292	7,280	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	多面的機能支払交付事業補助金	種類	農林業費府補助金	実績金額	122,270	決算付属資料	28	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	共同活動の取組面積	ha	1966 / 2100	1982 / 2100	1992 / 2100	/	2000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	活動組織数	組織	52 / 52	54 / 51	55 / 51	/	55
	単位あたりコスト		3150.8	73 3031.1	2963.9	/	多面的機能支払交付事業

		単位あたりコスト					
--	--	----------	--	--	--	--	--

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律に基づき、非農業者を含む地域活動組織が農業資源の保全活動や農村環境の向上活動を行うことを支援しており、農業振興の推進と人材育成に寄与している。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	交付金交付対象面積が大きいため、要綱に定められた現地確認を行うために多くの時間を要するが、地図情報システムの活用や中山間地域等直接支払交付事業との連携等により、効率化、省力化に努めている。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	本事業の令和3年度の取組面積は1992haで前年度から10ha増加しており、本市の農地及び付随する農業施設の維持に寄与している。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	農業の有する多面的機能の維持・発揮を図るための事業であり、近年、高齢化等による荒廃農地の増加が懸念されるなか、1992haの農地を対象に実施しており、また、161,428千円の交付金とその農地及び水路、農道等の農業施設の維持管理に活用されており、荒廃農地の増加抑制に有効である。		
改善策	活動組織に対し取組農地の拡大を呼びかけ、取組面積の増加を図る。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	本事業を継続し、非農家も含めた地域ぐるみの共同活動を推進するとともに、農地の多面的機能の維持を図る。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	農業振興計画管理事業					事業コード	210579					
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進				施策コード	831					
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課			所属長	余田 学						
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	166	頁
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	農業振興地域整備計画			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	農業振興地域の整備に関する法律、福知山市農村計画審議会規則											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	農家の高齢化や有害鳥獣の被害等により不作付農地が拡大しつつある中、「農業振興地域の整備に関する法律」に基づき策定した「福知山市農業振興地域整備計画」に基づき、優良な農地の確保・保全及び計画的な農地利用及び農業施策の実施を図る。											
対象者	市民(世帯数)			対象者数	36,461		単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	株式会社パスコ京都支店											
事業概要 (箇条書き)	令和2年度に見直しを行った農業振興地域整備計画に基づき、農用地区域の適切な維持管理及び開発防止を図るための指導等を行う。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	需用費	6		事務用消耗品								
	委託料	220		農業振興地域管理システム保守業務								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	527		376		376		1,986				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①~③)	527		376		376		1,986					
予算財源内訳	① 一般財源	527		376		376		1,986				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0		0				
決算情報	① 流充用額	0		0								
	② 配当予算	527		376								
	③ 執行額	469		226								
	④ 執行率	89.0%		60.1%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.48	/	0.00	0.23	/	0.00	0.00	/	0.00		
	② 概算人件費	3,840		1,840		1,840		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,309		2,066		1,840		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	審議会等開催数	回	0 / 1	1 / 1	0 / 1	/ 1	1
農業振興地域の農用地面積	ha	3211 / 3346	3178 / 3346	3085 / 3085	/ 3085	2243	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	審議会等出席委員	人	0 / 0	13 / 18	0 / 18	/ 18	18
	単位あたりコスト			36.1			
	計画変更(一般管理)	件	1 / 3	0 / 0	3 / 3	/ 3	3
単位あたりコスト		3280.0		75.3			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	農業振興地域の整備に関する法律に基づき、適切に実施した。	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	農振農用地管理システム維持費及び必要最低限の会議運営費のみで実施した。	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	審議会では本市の農業施策についての意見を聴き、将来的な農振農用地指定等に反映させているが、年度末に予定していた審議会は新型コロナウイルス感染の急拡大を受け令和4年度に延期した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>令和2年度に実施した福知山市農業振興地域整備計画の見直しにおいて明確にした守るべき農地について、適切に維持できるよう管理・指導をしている。</p> <p>成果実績の指標を農用地内の遊休農地割合としていたが、算定基礎となる調査が令和3年度に廃止されたため指標を「農業振興地域内の農用地面積」に改め、本市の守るべき農地面積をより直接的に把握できる指標に改める。この指標の目標値は、市農業振興地域整備計画に定める10年後の農用地面積としており、5年ごとに予定している特別管理において守るべき農用地の見直しを行うこととしている。</p>		
改善策	<p>◇圃場整備等公的資源が投入されている農業の振興を図るべき農振農用地であっても、担い手の高齢化や過疎化から、農地の保全や有効利用が困難になっている。今後は担い手の確保の状況を踏まえながら、守るべき農地をさらに絞る必要があるかを検討し、より情勢に応じた計画となるよう次期見直しに向けた整理を行う。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和7年度に予定している特別管理に向け、基礎調査及び情勢把握のためのアンケート実施の準備を進める。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	強い農業・担い手づくり総合支援事業			事業コード	210580						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進		施策コード	831						
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課		所属長	余田 学						
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料		頁
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名			R4現在の状況	廃止/休止		
根拠法令等	強い農業・担い手づくり総合支援事業実施要綱(国)、福知山市強い農業・担い手づくり総合支援事業実施要綱										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	◇適切な「人・農地プラン」が作成された地域において、中心経営体等の地域の担い手が、融資を活用して農業用機械・施設を導入し、主体的な経営発展を支援する。 ◇経営規模が小規模・零細な地域において、意欲のある経営体を育成するため、必要となる共同利用機械等の導入を支援する。										
対象者	総農家数(2020農林業センサスデータ)	対象者数	3,081	単位あたりコスト	0.1						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	◇地域の中心となる経営体が、共同利用機械等を導入し、これに対し助成を行う。(令和4年度は現在のところ要望なし)										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0	0	0	0				
	② 補正予算	1,617	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	1,617	0	0	0					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	1,617	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	1,617	0						
	③ 執行額	1,617	0						
	④ 執行率	100.0%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.10 / 0.00	0.02 / 0.00	0.02 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	800	160	160	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,417	160	160	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	導入機械数	台	0 / 0	2 / 2	0 / 2	/ 2	2
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	助成対象者数	者	0 / 0	1 / 1	0 / 1	/ 1	1
	単位あたりコスト			1617.0			
	単位あたりコスト		/	78 /	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	過疎高齢化が進行し、小規模農業者が個人で機械導入することが困難な中、共同利用機械等の導入に対する支援が必要である。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	補助率は同類の他事業と比較して妥当な水準である。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	事業完了後も機械の利用状況や組織の経営内容を調査し、補助金の有効活用を確認しており、当初の目標を達成するまで毎年経営状況を調査している。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	農業用機械等の導入支援を行うことで、規模拡大等本市の農業振興に有効な事業であり、継続的な支援が必要である。		
改善策	国制度の補助事業については、目標設定などの要件が厳しく、農業者の要望と合致しないことが多いが、農業者が新たな農業用機械導入などを希望し本事業に該当する場合は、活用を提案する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	農林漁業者経営継続支援事業			事業コード	210581						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進		施策コード	831						
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課		所属長	余田 学						
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	166・168	頁
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名			R4現在の状況	廃止/休止		
根拠法令等	福知山市農林漁業者経営継続支援事業補助金交付要綱										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	新型コロナウイルス感染症の影響を克服するため、感染拡大防止対策を行いつつ、販路の回復・開拓、生産・販売方式の確立・転換などの経営継続に向けた農林漁業者の取組を支援する										
対象者	総農家数(2020農林業センサスデータ)			対象者数	3,081		単位あたりコスト	4.8			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	◇新型コロナウイルス感染症の影響を克服するために、国の「経営継続補助金」の交付を受け、販路の回復・開拓、生産・販売方式の確立・転換などの経営継続に向けた取組を行う農業者を支援する。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	負担金補助及び交付金	13,109		農林漁業者経営継続支援事業補助金							

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	0	0	0	0	
	② 補正予算	11,040	0	0	0	
	③ 繰越予算	△ 14,112	14,112	0	0	
	前年度繰越	0	14,112	0	0	
	次年度繰越	△ 14,112	0	0	0	
小計(①～③)	△ 3,072	14,112	0	0		
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0	
	② 国支出金	△ 3,072	14,112	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	8,474	0			
	② 配当予算	5,402	14,112			
	③ 執行額	5,393	13,109			
	④ 執行率		92.9%			
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.22 / 0.00	0.22 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費		1,760	0	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,393	14,869	0	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	補助件数	件	/	17 / 64	63 / 64	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	補助対象者数	者	/	17 / 70	69 / 70	/	
	単位あたりコスト		/	80 /	/	/	
	単位あたりコスト		/	80 /	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	新型コロナウイルス感染症により価格の低下や販売先の営業休止などにより、経営が困難な農業者に対して緊急に支援を行った。	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	国の補助金に上乗せ補助を行うことで、市単独で実施する以上の効果が得られた。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	国の補助金に上乗せ補助を行うことで、営農の継続を支援した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	国の1次、2次募集とも想定以上の申請があり、コロナ禍で生産や出荷の減少している農業者に対して、積極的な設備投資等を促すことができた。		
改善策	令和3年度で終了した事業ではあるが、今後も国や府の事業について市からも活用を働きかける		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	環境保全型農業直接支払交付事業			事業コード	210582						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進			施策コード	831					
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課		所属長	余田 学						
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	168	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	環境保全型農業直接支払交付金実施要領(国)、福知山市環境保全型農業支援対策事業実施要領、福知山市環境にやさしい農業推進事業補助金交付要綱ほか										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	環境にやさしい農業の取組みを支援することにより、環境保全に効果の高い営農活動の普及等を図る。										
対象者	総農家数(2020農林業センサスデータ)	対象者数	3,081	単位あたりコスト	1.5						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	9組織(令和3年度)										
事業概要 (箇条書き)	◇本事業は国の環境保全型農業直接支払交付金事業と市単費の福知山市環境にやさしい農業推進事業からなる事業である。 ◇環境保全型農業直接支払交付金は農業、化学肥料を都道府県の慣行レベルから原則5割以上低減する取り組みとあわせ全国共通取組又は、地域特認取組を行う農業者団体に対し、補助を行う。 ◇福知山市環境にやさしい農業推進事業補助金は生分解性マルチを導入する農家、組織に対し、上限を50,000円とし、事業費の1/2以内で補助を行う。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	負担金補助及び交付金	2,211	環境保全型農業支援対策事業補助金2,111、環境にやさしい農業推進事業補助金100								
	使用料及び賃借料	62	現地確認用自動車賃借料他								
	需用費	6	消耗品費等								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	0	3,310	3,309	3,510						
	② 補正予算	0	0	0	0						
	③ 繰越予算	0	0	0	0						
	前年度繰越	0	0	0	0						
	次年度繰越	0	0	0	0						
小計(①~③)	0	3,310	3,309	3,510							
予算財源内訳	① 一般財源	0	960	959	1,160						
	② 国支出金	0	0	0	0						
	③ 府支出金	0	2,350	2,350	2,350						
	④ 地方債	0	0	0	0						
	⑤ その他特財	0	0	0	0						
決算情報	① 流充用額	0	0								
	② 配当予算	0	3,310								
	③ 執行額	0	2,279								
	④ 執行率	0.0%	68.9%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.00 / 0.00	0.31 / 0.00	0.31 / 0.00	0.00 / 0.00						
	② 概算人件費	0	2,480	2,480	0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	4,759	2,480	0							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	環境保全型農業直接支払交付金		種類	農林業費補助金		実績金額	1,633	決算付属資料	28	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	取組面積(マルチ)	a	/	/	/	276 / 400	/ 400
取組面積(環境保全)	ha	/	/	/	77 / 70	/ 70	-
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	取組団体数(マルチ)	者	/	/	2 / 4	/ 4	-
	単位あたりコスト				1139.5		
	取組団体数(環境保全)	者	/	82 /	9 / 9	/ 9	-
単位あたりコスト				253.2			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>環境保全型農業は、持続可能な農業を目指すうえでこれからますます社会からのニーズが高まると予想され、その取り組みを促進する本事業の必要性は高い。国主導の補助事業であり、市民で構成する農業団体が取り組むことにより補助金が交付される事業である。特に、有機農業など有効性の高いものは補助単価が高く、SDGsの取組にも関連付けることができることから、優先度が高い。</p>	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>交付金の内訳は国1/2、府・市1/4であり妥当な水準である。取組内容により補助単価が異なるため、現地確認等で事業が適切に取り組まれているかどうかの確認を実施している。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>農林水産省がみどりの食料戦略を発表し、減農薬・無農薬栽培等の環境にやさしい農業の需要は今後ますます高まると予想される一方で、環境にやさしい農業の多くで収穫量が低いという課題がある。今後も環境にやさしい農業を推進するために交付金を交付する本事業の有効性は高い。環境保全型農業については、国も予算を拡大しており、新規団体の参加や、団体内の取組者数の増員を募集し、拡大を目指す。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>◇環境保全型農業の取組に対し補助を行う本事業は一定の効果がある。 ◇本事業の取組は地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果的であり、今後取組を広げていく必要がある。 ◇福知山市で多くの農業者が取り組む「長期中干し」については、800円/10aと単価が低く、農業者に対する啓発効果が薄い。 ◇都道府県単位で地域性に合った地域特認取組が設定されているが、京都府では冬期湛水を求めるものが多く、鳥インフルエンザの要因となる渡り鳥の中継地となることを防ぐ観点から、養鶏場の多い中丹地域では地域特認取組の活用が困難である。</p>		
改善策	<p>単価が高かつ取り組みやすい府独自の地域特認取組が導入できないか府と協議するとともに、市では独自事業として特別栽培米や有機JAS認証米といった、特色ある米を高価格で販売できるように支援を行っていく。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>消費者の環境保全に対する意識は高まっており、引き続き環境にやさしい農業の促進を図る。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	と畜場特別会計			事業コード	210601						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立					
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進			施策コード	831					
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課			所属長	藤澤 稔					
会計情報	款	01 と畜場費	項	01 施設管理費	目	01 一般管理費	会計	04 と畜場	決算付属資料	270	頁
計画期間	開始年度	昭和39年	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	と畜場法										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (と畜場特別会計への負担金支出)										
関連事業	と畜場運営費										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	衛生的で効率的な食肉処理を行う施設として、市民生活の安定に寄与することを目的に「と畜場法」に基づき、平成9年7月に移転開設された福知山市食肉センターの運営・管理を行う。										
対象者	福知山市食肉組合			対象者数	5		単位あたりコスト	768.6			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	株式会社アクアテック										
事業概要 (箇条書き)	◇汚水ポンプ槽汚泥吸引 ◇他市食肉組合加入金負担金										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	需用費	301		電気代、上下水道料							
	役務費	76		共済基金分担金、通信料							
	委託料	265		衛生管理業務委託							

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	30,800	700	1,500	3,255				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	30,800	700	1,500	3,255					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	30,800	700	1,500	3,255				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	30,800	700						
	③ 執行額	23,209	643						
	④ 執行率	75.4%	91.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	1.00 / 0.00	0.40 / 0.00	0.40 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	8,000	3,200	3,200	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	31,209	3,843	3,200	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	運営負担金	種類	雑入	実績金額	643	決算付属資料	268	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	総利用頭数	頭	323 / 662	162 / 662	- / -	- / -	
本市分利用頭数	頭	20 / 21	23 / 21	- / -	- / -		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	負担金決算額	百万円	14.6 / 17.8	13.7 / 18.5	- / -	- / -	
	単位あたりコスト		-	-			
	最終清掃	回	/	84 /	0 / 1	/ 1	
単位あたりコスト							

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	令和3年3月31日で福知山市食肉センターが休止したことを受け、汚水処理棟の最終清掃及び消毒を行うことで、施設の維持管理を適正に行うことが出来る。また、福知山市食肉センターが休止したことにより、福知山食肉組合の組合員が他市の食肉センターを利用するために必要な他市食肉組合への加入金の補償を行うことにより、円滑にと畜が行えるよう支援を行うため、優先度は非常に高い。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	最終清掃については、価格交渉を行うことにより、コストの削減に努める。また、加入金の補償については、他市食肉組合の規約に取り定められているため、経費については適正であるとする。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	食肉業界全体の後継者不足等による業者の減少や、新型コロナウイルスの影響により目標値との乖離がある。また、令和3年3月31日で施設を休止したため、令和3年度については、利用頭数及び負担金決算額は0となっている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	食肉センター休止に伴う最終清掃を行う予定であったが、財産処分の手続きに時間がかかるため、令和4年度に最終清掃を行う。		
改善策	財産処分を行い、最終清掃を適切に行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	食肉センターを適切に維持管理するため、除草作業等を行う。また、福知山市食肉組合が建設した皮置き場の解体補償を行う。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	家畜市場運営事業			事業コード	210606							
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進			施策コード	831						
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課			所属長	藤澤 稔						
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	04 畜産業費		会計	01 一般会計	決算付属資料	168	頁
計画期間	開始年度	昭和50年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市営家畜市場条例、福知山市営家畜市場規則、福知山市営家畜市場の書類等の様式に関する規則、福知山市営家畜市場飼料販売規程条例											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	福知山市営家畜市場を、仔牛・成牛の購買の場として提供し、畜産振興に資する。											
対象者	畜産農家(牛)			対象者数	14			単位あたりコスト	190.6			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	アムス・セキュリティサービス株式会社、株式会社丹新ビルサービス											
事業概要 (箇条書き)	◇全農京都の使用によるセリ市(年5回)の会場として使用を許可。 ◇使用料収入による施設運営。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容							
	需用費	748			電気代、水道代、消耗品費等							
	役務費	257			建物総合損害共済、電話代等							
	委託料	91			家畜市場警備業務、家畜市場消防用設備等点検業務							
	備品購入費	42			消火器購入							

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,443	1,515	1,466	1,216				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	1,443	1,515	1,466	1,216					
予算財源内訳	① 一般財源	232	339	349	204				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	1,211	1,176	1,117	1,012				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	1,443	1,515						
	③ 執行額	1,192	1,138						
	④ 執行率	82.6%	75.1%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.12 / 0.60	0.16 / 0.10	0.16 / 0.10	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,460	1,530	1,530	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,652	2,668	1,530	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	家畜市場使用料	種類	農林使用料	実績金額	1,007	決算付属資料	10	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標	
		市内農家市場取引実績(年間)	頭	124 / 150	138 / 150	196 / 150	/ 150	150
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標	
		中丹家畜市場取引実績(年間)	頭	459 / 590	461 / 590	457 / 590	/ 590	590
		単位あたりコスト		1.8	2.6	2.5		
				/	86 /	/	/	
	単位あたりコスト							

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	家畜市場で実施されるせり市では、年間450頭以上の取引があり、市内農家の取引実績も年々増加している。市内及び近隣の繁殖農家・肥育農家の振興にとって必要である。また、福知山市営家畜市場として市が管理・運営を行い、せり市会場としてJA全農京都に貸し出す際にも適切な利用がされるよう、管理監督を行う必要がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	年間約1,000千円以上の施設使用料があり、支出金額の2/3以上をまかなうことができていない。また、施設内は通常無人となる状況のなか、家畜市場の防災を目的とした警備業務や消防設備に関する経費が中心であり、施設の整備及び安全を図るためのコストとして必要最小限である。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	全農京都からの報告に基づき、取引頭数や取引金額などの実績把握をしている。また、せり市会場として開放することで、市内畜産農家からの搬入頭数は、令和2年度と比較すると約60頭と大幅(142%)に増えていることから、地域の畜産振興として投入資源に見合った成果が得られ、有効性の高いものである。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	中丹家畜市場の開場により、市内畜産農家の取引実績が年々増加していることから、仔牛・成牛の購買の場として福知山の畜産振興に有効である。		
改善策	市営家畜市場は、平成17年以降休場状態となっているが、全農京都により年間5回のせり市が開催されている。一層の畜産振興を図るため、せり市の主催者であるJA全農京都などの関係機関と連携を図り、出荷時の負担軽減などを検討していく必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	市内の繁殖農家・肥育農家にとって、利便性が高く市内畜産農家の取引件数が増加していることから、事業の継続により地域の畜産振興を図る。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	公設市場特別会計			事業コード	210607						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立					
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進			施策コード	831					
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課			所属長	余田 学					
会計情報	款	01 市場費	項	01 卸売市場費	目	01 一般管理費	会計	09 卸売市場	決算付属資料	279~282	頁
計画期間	開始年度	昭和56年度	終了予定年度	令和4年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	改正卸売市場法、福知山市公設地方卸売市場条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	生産農家の稼げる農業の確立を目指し、市民に新鮮かつ安心・安全な農産物等を供給すると共に、農業振興の拠点として、市内の生産者と連携し、地場産野菜の生産・出荷体制作りを支援し、地場産農産物の高付加価値化と地産地消を推進する。										
対象者	市民(2020国勢調査)			対象者数	77,306			単位あたりコスト	0.3		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	委託先：中川公認会計士事務所、指定管理者：株式会社丹波松下農園										
事業概要 (箇条書き)	◇公設地方卸売市場は、生産者の地場野菜の出荷先として、また青果物の流通拠点施設として大きな役割を担っている。 ◇平成24年度からは指定管理制度を導入し、効率的な施設機能の維持管理を図りながら、円滑かつ適切な運営に努めている。 ◇現在の指定管理は平成29年度～令和3年度だったが1年間指定管理を延長している、今後、民間事業者が開設者となる民設・民営の地方卸売市場へ移行できるよう調整を行う。 ◇卸売業者は新規取引先の開拓などにより、取扱量を伸ばしている。 ◇令和元年から引き続き公設市場のあり方検討調査を実施している。 ◇あり方検討の結果、市場の機能を存続するため、卸売業者が開設者となり市場の管理・運営を一本化する方向について、市場関係者、議会に説明を実施し、令和4年度中に民設・民営化する方向である。										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容						
	需用費	4,386			施設・設備修繕費4,163 ほか						
	役員費・使用料及び賃借料・旅費	279			通信電話料123、複写機使用料66 ほか						
	委託料	990			財務調査						
	負担金補助及び交付金	1,018			販売促進対策補助金200、価格安定対策補助金818						
	工事請負費	11,090			冷蔵庫・バナナ加工棟屋上防水改修工事7,490 ほか						

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	9,300	25,300	19,874	0				
	② 補正予算	0	3,595	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	9,300	28,895	19,874	0					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	9,300	28,895	19,874	0				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	9,300	28,895						
	③ 執行額	6,947	17,763						
	④ 執行率	0.0%	61.5%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.00 / 0.00	0.95 / 0.65	0.95 / 0.65	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	0	9,225	9,225	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	6,947	26,988	9,225	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	一般会計繰入金	種類	他会計繰入金	実績金額	17,763	決算付属資料	280	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	市場取引額	千円	758,584 / 0	739,772 / 0	751,249 / 730,000	730,000	740,000
使用料収入	千円	10,171 / 0	9,648 / 0	9,232 / 9,500	9,500	9,600	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	市場取扱高	t	2,571 / 0	2,357 / 0	2,401 / 2,500	2,500	2,600
	単位あたりコスト		4.0	2.9	7.4		
	関連店舗使用面積	m ²	894 / 0	871 / 0	871 / 871	1,067	1,100
単位あたりコスト		11.6	8.0	20.4			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> ◇安心安全な地場産野菜の提供は市民のニーズに合致しているが、直販所や農家と消費者による直接取引など、流通が大きく変化している中、あり方検討の結果を踏まえて、現在の指定管理制度終了後は、卸売業者が開設者となり、民設・民営により管理運営を一本化し市場機能の存続・促進を図る。 ◇開設者が民間事業となり、公設地方卸売市場事業としては廃止となるが、民設・民営の地方卸売市場として市場機能は存続する。 	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> ◇指定管理制度の導入により、施設管理については効率化が図られたが、卸売業務の運営面は卸売業者が運営しているため、開設者(市)の承認案件等は時間がかかる案件がある状況である。今後は卸売業者が開設者となり、市場の管理・運営を一本化することにより一層の効率化を推進する。 	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> ◇青果の取扱量は令和2年度はコロナ禍の影響もあり前年度比較で減少していたが、令和3年度は持ち直して前年度比較で増加している。 ◇関連店舗数が減少したため、施設使用料が減少している。 ◇指定管理者には今後も引き続き空き店舗対策を求める必要がある。 ◇令和3年度は現指定管理の最終年度となっていたが1年延長している。令和4年中に卸売業者が開設者となり民設・民営に移行することにより市場の管理・運営を一本化し市場機能の存続と促進を図る。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ◇コロナ禍ではあるが、一定の取扱量を保ち、市民が安心・安全な生鮮食品の供給を継続して提供することができた。 ◇セリ売りの取扱量は前年度より減少しており、地場産野菜の集荷促進が緊急の課題となっている。 ◇指定管理制度の導入により、効率的な管理ができたが、この間施設の改修費用を市として調達できなかった。 ◇今後は指定管理制度を廃止し、民設民営化し、普通財産を市がそれぞれ直接貸付けることにより、市は改修費用調達を見込む。 ◇卸売業者は開設者となり管理・運営を一本化することにより、市場機能の存続と促進を図る。 ◇指定管理制度を廃止し、民設民営化する予定がまだ済んでいない。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ◇今年度中に指定管理制度廃止、市場の民設民営化を達成する。 ◇また現指定管理者や開設予定者となる卸売業者との協議も進めていく。 ◇取扱量増加のために、生産農家への集荷依頼を行い、取扱量増加につなげる。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	公設地方卸売市場事業特別会計が令和4年度で廃止となる予定である。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	と畜場運営費			事業コード	210614							
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進			施策コード	831						
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課			所属長	藤澤 稔						
会計情報	款	04 衛生費	項	05 と畜場費	目	01 と畜場施設費		会計	01 一般会計	決算付属資料	158	頁
計画期間	開始年度	平成9年		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	R4現在の状況		継続中		
根拠法令等	と畜場法											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	食肉センター運営一般経費											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	「と畜場法」に基づき、平成9年7月に移転開設された福知山市食肉センターの維持管理を行うための財源として、運営費を負担する。											
対象者	福知山市(と畜場特別会計)			対象者数	1		単位あたりコスト	1,203.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (と畜場特別会計への負担金支出)											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	と畜場法に基づく食肉処理施設である、福知山市食肉センターの維持管理を行うための運営負担金支出。											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	負担金補助及び交付金	643		と畜場運営負担金								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	18,466	700	1,500	3,355	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①～③)	18,466	700	1,500	3,355		
予算財源内訳	① 一般財源	18,466	700	1,500	3,355	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 71	0			
	② 配当予算	18,395	700			
	③ 執行額	13,715	643			
	④ 執行率	74.6%	91.9%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.32 / 0.00	0.07 / 0.00	0.07 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	2,560	560	560	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	16,275	1,203	560	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	総利用頭数	頭	323 / 662	162 / 662	- / -	/ -	662
	本市分利用頭数	頭	20 / 21	23 / 21	- / -	/ -	21
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	負担金決算額	百万円	14.6 / 17.8	13.7 / 18.5	- / -	/ -	18.5
	単位あたりコスト		-	-			
	最終清掃	回	- / -	90 / -	0 / 1	/ 1	
単位あたりコスト							

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	食肉センターを適切に維持管理するための負担金として、優先度は高い。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	令和3年3月31日で福知山市食肉センターは休止しており、他市からの運営負担金を得ることが出来ないが、維持管理等を行うために必要な最小限のコスト負担であるとする。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	令和3年3月31日で施設を休止したため、令和3年度については、利用頭数及び負担金決算額は無い。財産処分を行い、その後最終清掃を行う予定としているため、財産処分を進める。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	令和3年3月31日で施設を休止したため、他市からの負担金等はなかったが、食肉センターの維持管理については適正に行うことが出来た。食肉センター閉鎖に向け、京都府と補助金返還の協議を行うとともに、綾部市、舞鶴市及び宮津市とも協議を行い、補助金返還の各市負担金を確定する。		
改善策	補助金返還について、京都府担当者と協議を行うとともに、福知山市の財産処分や今後の活用の仕方を検討し、条例廃止を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	食肉センターの維持管理費及び福知山市食肉組合が建設した皮置き場の解体補償を行った費用を負担する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	農業者年金受託事業			事業コード	210149						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進		施策コード	831						
事業担当	所属	68010000 農業委員会事務局			所属長	谷垣 薫					
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	01 農業委員会費	会計	01 一般会計	決算付属資料	160	頁
計画期間	開始年度	昭和49年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (業務受託事業)										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	昭和46年から農業者年金基金法(旧法)に基づき、厚生年金に加入していない農業者を対象として2階部分の年金(基礎年金の上乗せ)に係る事業を開始し、農業者の老後生活の安定、農業経営の若返り(経営移譲)、農地保有の合理化(細分化防止)に寄与してきた。平成13年には、農業者年金事業が抜本的に見直され、賦課方式(加入者が受給者を支える)から積立方式(自ら受給する年金を積立)に変更するとともに、旧制度による年金の支払い業務及び新制度に基づく年金事業(農業者の老後生活の安定、農業者の確保)を行っている。よって、農業者年金は、通常の社会保障の観点だけでなく、農政上の重要な政策課題に対応した目的とそれを踏まえた内容の政策年金として、自主制度ではなく特別の法律に基づき確実に実施されるべき年金制度として措置されている。										
対象者	農家	対象者数	6,578	単位あたりコスト	0.1						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	・独立行政法人農業者年金基金から農業者年金業務を受託し、広報誌や委員活動において制度の普及啓蒙活動を実施した。 ・農業者年金受給者の現況届の案内、指導、回収、年金基金への送付を行った。 ・加入者の相談対応、受給者の死亡届の手続きを行った。 ・年金加入推進委員(農業委員、農地利用最適化推進委員)が個別面談等により加入推進を実施した。										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	需用費	91	農委だより印刷、書類、事務用品								
	役務費	108	郵送料								
	使用料及び賃借料	50	複写機使用料								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	228	221	231	273				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	228	221	231	273					
予算財源内訳	① 一般財源	12	5	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	216	216	231	273				
決算情報	① 流充用額	54	28						
	② 配当予算	282	249						
	③ 執行額	282	249						
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.08 / 0.00	0.08 / 0.00	0.08 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	640	640	640	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	922	889	640	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	農業者年金業務受託手数料	種類	雑入	実績金額	296	決算付属資料	46	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	加入推進活動	回	2 / 2	2 / 2	2 / 2	2 / 2	2
	単位あたりコスト		115.5	141.0	124.5		
	現況届の受理・報告	件	88 / 98	81 / 88	76 / 81	76	75
	単位あたりコスト		2.6	3.5	3.3		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>農業者の年金は国民年金しかなく、その国民年金の上乗せの公的年金である農業者年金は、農業者が安心して豊かな老後を送るための生活支援のためにもメリットが大きい。</p>	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>農家、地域農業のために現地活動を行う農業委員、農地利用最適化推進委員が、農業者年金への加入推進活動を行うこと。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>新型コロナウイルス禍において、農家との接触頻度及び面談時間の低下は止むを得ず、可能な範囲内で加入推進が図られた。年金受給者への適正な年金支給が行われた。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>農業者年金業務の円滑な推進、加入促進、普及啓発を行った。農業者年金は、農業者も含め市民の認知度が高いとは言えないが、農業者の老後の生活支援にもメリットは大きく、制度を維持していく事は必要である。 農業者年金基金からは業務委託料を財源として受け入れた。 (定性的評価) 現状の課題としては加入者が少ないため、加入者の増加を考えていかなければいけない。</p>		
改善策	<p>新規就農者に対して、加入要件を満たす農業者に、農業委員、農地利用最適化推進委員等がより積極的に個別訪問を行い、事業のメリットを説明し、年金関係機関と連携を取り、農業者年金の仕組みの周知を図る。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> ・農業者年金制度は、農業者の老後の生活を支える制度維持に必要であり、適正で合理的な事業を継続する。 ・加入推進の対象者は、担い手農家を中心にリストアップして「加入推進名簿」を作成し、加入促進を図る。 ・農業委員会では、農家の収入の安定を図るため、農家登録されている農業者に対し、加入の啓発を行うとともに加入者・受給者の資格管理にかかる業務も行って、農業者年金制度維持に必要である。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	農政活動推進事業			事業コード	210150							
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進			施策コード	831						
事業担当	所属	68010000 農業委員会事務局			所属長	谷垣 薫						
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	01 農業委員会費		会計	01 一般会計	決算付属資料	160	頁
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	農業委員会等に関する法律											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	農地を守り、その有効活用を図る観点から、地域に農業委員会補助員(農区長)を配置し、農地の貸借等の流動化を推進し、遊休荒廃農地の発生防止と解消、農地の有効利用に取り組む。											
対象者	農家	対象者数	6,578	単位あたりコスト	1.5							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	・隔月の農地利用最適化推進委員会会議及び月例の農地農政相談の開催。 ・農林関係事業への要請活動、「農委だより」発行による広報活動などの農政活動の実施。 ・農業委員会補助員(農区長)と農業委員会の委員とで構成される地区推進協議会等を中心とした、農地を守り有効利用を推進する活動の実施。											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	旅費	268	委員活動費実費弁償									
	需用費	330	農委だより印刷、書籍、事務用品									
	役務費	145	電話代、郵送料									
	使用料及び賃借料	56	農地等情報総合管理システム用電算機器賃借料									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,250	1,212	1,167	1,171				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	1,250	1,212	1,167	1,171					
予算財源内訳	① 一般財源	1,244	1,206	1,167	1,171				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	6	6	0	0				
決算情報	① 流充用額	△ 256	△ 143						
	② 配当予算	994	1,069						
	③ 執行額	932	799						
	④ 執行率	93.8%	74.7%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	1.10 / 0.00	1.10 / 0.00	1.10 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	8,800	8,800	8,800	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	9,732	9,599	8,800	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	担い手の農地の集積	ha	713 / 713	1153 / 713	888 / 713	/ 713	1239
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	広報誌「農委だより」の発行	回	2 / 2	2 / 2	2 / 2	/ 2	2
	単位あたりコスト		493.4	466.0	399.5		
	委員の数	人	48 / 50	48 / 50	50 / 50	/ 50	50
単位あたりコスト		20.6	19.4	16.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 法改正後、農地利用の最適化の推進(いわゆる“農政活動”)が農業委員会業務の二本柱の一つとなり、農業、農村振興を目指す農業委員会に必要不可欠である。 法定業務の一つである「農地利用状況調査」を毎年行い、地域の土地の状況を把握し「守るべき農地」を明確にしなければならない。 国が進める「人・農地プラン(京都府：京力農場プラン)」に関連し、農業委員会は市が策定する地域計画(地域農業の在り方、農地の効率的な利用に関する目標など)に必要な地図の素案を作成することが、改正基盤強化法で明記された。 	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 農地利用最適化推進委員一人当たりのカバー面積が、国の基準の100haに一人という基準に比し、約160haとなっており、厳しい条件の中で農業委員会補助員(農区長)などの協力を得て活動している。 地域の農地集積、農地の荒廃化防止、新規就農者への支援、農業者等の相談対応等の業務が増加傾向にある中で、現地において、農地の現状把握、今後の取り組み等を同時に行う等、常に効率化を目指して活動している。 	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 担い手等への農地集積は伸びている。 耕作条件の整った農地だけでなく、遊休農地でもそれを解消して守っていかなければならない農地もあり、この観点から農地利用の最適化、守るべき農地の明確化は重要である。 農業委員会の委員が中心となり、農地利用の最適化、守るべき農地の明確化を話し合うことで、その地域全体で将来の土地利用の在り方を検討する機会となっている。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	農業委員会等に関する法律に基づき、農地等の利用の集積その他農地等の効率的な利用の促進、また、農家への情報提供を行うため、農業委員会の活動の推進事務費等として必要である。 農家にとって、農地の保全を図り、地域農業の情報を知る上で有効性は高い。 他の会議との同日開催等により、質を落とさずコスト削減に努めている。 遊休荒廃地が増えてきており、解消のための担い手農家等に農地集積をより進めていく必要がある。 農地利用最適化推進委員のカバー面積が広大な為、すべての案件を網羅することが難しい。		
改善策	高齢化や担い手不足による「あきらめ感」が強く、地域の将来設計図が描けない地域がある。 委員のリーダーシップの有無によって、取り組み状況に差が生じている。改正法の施行によって新たに明記された項目もあり、研修会を行うなど委員自身の意識改革を行っていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> 耕作者の高齢化、不在地主の増加により、遊休農地が増加するなか、地域の農地を管理していくため、農区の代表者である農区長(農業委員会補助員)を中心に農地の利用について検討を行う必要がある。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	農業委員会運営事業			事業コード	510106						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進		施策コード	831						
事業担当	所属	68010000 農業委員会事務局		所属長	谷垣 薫						
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	01 農業委員会費	会計	01 一般会計	決算付属資料	160	頁
	計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	R4現在の状況		継続中		
根拠法令等	農業委員会等に関する法律										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	農業委員会の円滑な運営と農地関係法令等による所掌事務の適切な推進を図ることにより、農地の適正な管理を行う。										
対象者	農業委員・推進委員・補助員			対象者数	298		単位あたりコスト	110.8			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	・農業委員会の運営と所掌事務。 ・委員報酬及び補助員報償費。 ・農地法等に基づく農地の権利移動や転用等に関する審議及び許認可、農業経営基盤強化促進法に定める利用権設定に関する業務など。										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	報酬	10,716	農業委員・推進委員報酬								
	報償費	3,718	農業委員会補助員(農区長)報償								
	旅費	345	委員活動費実費弁償、研修等旅費								
	負担金補助及び交付金	606	京都府農業会議会費								
需用費・役務費・備品購入費	833	事務用品、公用車燃料費、公用車車検、郵送料、仮想端末用接続機器購入									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	17,078	16,166	17,461	22,040				
	② 補正予算	0	3,316	0	0				
	③ 繰越予算	0	△ 3,316	3,316	0				
	前年度繰越	0	0	3,316	0				
	次年度繰越	0	△ 3,316	0	0				
小計(①~③)	17,078	16,166	20,777	22,040					
予算財源内訳	① 一般財源	10,690	9,650	10,803	14,382				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	6,349	6,474	9,932	7,616				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	39	42	42	42				
決算情報	① 流充用額	202	116						
	② 配当予算	17,280	16,282						
	③ 執行額	16,877	16,218						
	④ 執行率	97.7%	99.6%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	2.10 / 0.00	2.10 / 0.00	2.10 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	16,800	16,800	16,800	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	33,677	33,018	16,800	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	農業委員会証明手数料	種類	農林手数料	実績金額	39	決算付属資料	14	頁
		農業委員会交付金等		農林業費府補助金		5,151		28	
		農地利用最適化交付金		農林業費府補助金		2,375		28	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	農業委員研修回数	回	4 / 4	6 / 4	2 / 4	/ 4	4
	単位あたりコスト		3919.8	2812.8	8109.0		
	定例総会	回	12 / 12	13 / 12	12 / 12	/ 12	12
	単位あたりコスト		1306.6	1298.2	1351.5		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業委員会等に関する法律によって農業者等を代表する組織として市町村に設置される行政委員会であり、報酬、費用弁償等は関係する法律、条例等で措置されている。また、関係法に基づく農地行政を担い、その業務等は農地法、農業委員会等に関する法律などで定められており、民間事業者等で代行、実施できるものでない。 ・農地の確保(転用の制限)、効率利用(権利移動制限、貸借権の保護、農地の農業上の確保)によって、耕作者(農業者)の地域の安定と国内農業生産の増大を図り、もって食料の安定供給の確保に資することを農地法は目的としている。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務量に比して報酬、費用弁償は充分とは言えないが、必要最低限の費用で担い手農家へ細部に渡っての指導等、最大限の活動を行っている。 ・農地法等は、農地行政は農業委員会を含むその系統組織が担うものとして構成されている。したがって、コストの比較はできない。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地法に基づく許可(転用制限)、担い手農家への農地の利用集積、集約化、新規就農支援による遊休荒廃農地の発生防止と解消によって、農地の有効活用に取り組んだ。 ・農地利用状況調査、京力農場プランの策定に関係し、将来の地域の土地利用について話し合いをリードした。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	農業委員会等に関する法律に基づく行政委員会として設置されており、委員への報酬や事務費等の運営経費として必要である。毎月の総会において、農地法に係る審査等を実施する法定組織であり有効に機能している。審査案件の多少により変動はあるものの、効率性を問うことは難しいと考える。総会等により農業委員会業務の円滑な運営と、農地関係法令等による所掌事務の適切な推進を図った。(定性的評価) 農地法に関する事務や、農地中間管理法への農業委員会の関与の明文化等により、農業委員会に求められる業務が増加の一途を辿っており、委員への負担が増している。		
改善策	委員のスキルアップを図るため、定期的に研修会の開催をする。また、引き続き法令業務の適正実施、関連業務への取組みに努め、農業委員会の所掌事務の適切な推進を図る必要がある。 農地法に関する事務や、農地中間管理法への農業委員会の関与の明文化等により、農業委員会に求められる業務が増加の一途を辿っており、委員への負担が増している。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度は、予算要求額を増額することにより、農業委員及び農地利用最適化推進委員の農地利用集積活動の効率化を図り、農地の適正な管理を行う。 ・農業委員会の委員と農区長(農業委員会補助員)が中心となって各地域で地区推進協議会を運営しており、農地案件への農区の意見、各農家への調査・広報などを行い、農地利用最適化を図る必要がある。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	農家基本台帳等整備事業			事業コード	510110						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進		施策コード	831						
事業担当	所属	68010000 農業委員会事務局		所属長	谷垣 薫						
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	02 農業総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	162	頁
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	農地法										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	農業を推進し、安定した農業経営を行うためには、農家基本台帳整備が必要であり、管理事務の円滑な処理を図るため、電算化による事務事業の実施を行う。 農家基本台帳整備は、農業委員会等に関する法律(平成元年農林水産省局長通知)に基づき推進している。										
対象者	農家		対象者数	6,578		単位あたりコスト	1.2				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	ソリマチ株式会社										
事業概要 (箇条書き)	・農地法に規定された農家基本台帳を電算化により整備し、それを基に年1回、印刷した世帯別の台帳を各戸配布し、確認、修正等が行われた台帳データの更新を実施している。 ・農地法の規定により、農家基本台帳に記録された農地情報の公開が求められており、国の農地情報公開システム上での管理に向けた業務を実施している。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	報酬・職員手当等	1,328		臨時職員賃金(農地台帳整備等作業)							
	需用費	175		農地台帳調査等用品							
	役務費	214		郵送料							
	委託料	550		農地台帳システム保守業務委託料							

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	2,327		2,307		2,856		3,074					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①~③)	2,327		2,307		2,856		3,074						
予算財源内訳	① 一般財源	1,303		1,283		419		744					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	1,024		1,024		2,437		2,330					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	0		0		0		0					
決算情報	① 流充用額	0		0									
	② 配当予算	2,327		2,307									
	③ 執行額	2,194		2,267									
	④ 執行率	94.3%		98.3%									
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.72	/	0.00	0.72	/	0.00	0.00	/	0.00			
	② 概算人件費	5,760		5,760		5,760		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	7,954		8,027		5,760		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	機構集積支援事業		種類	農林業費府補助金		実績金額		1,021		決算付属資料	28	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	農家基本台帳整備	戸	6688 / 6688	6688 / 6688	6578 / 6688	6688 / 6688	6600
	単位あたりコスト		0.4	0.3	0.3		
	単位あたりコスト		/	98 /	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 農地法では、農地台帳による農地、農業者などの情報を一元管理するべくその整備を定めている。 改正農地法の施行によって、農地を相続した者はその土地が所在する農業委員会に届け出ることが義務付けられた。世代交代による不在地主が増加する中で、農地情報を一元管理する農家台帳の整備は重要性を増している。 農業一般に関する調査、情報提供するうえで農地台帳は欠くことのできないものとなっている。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 農家基本台帳は、農家単位の世帯情報、農地の貸借等の権利関係等の独自のデータを整理・管理しており、手作業が基本になる。 農家の修正内容等は、自己申告によるもので、その変更内容の確認等を行ったうえで更新することになり、現状を基本的に効率的な作業に努める。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 法定の台帳整備ができており、農地法の許認可申請の審査、耕作証明、農家証明、納税猶予制度等の農業者へのサービス業務も、適正に処理ができています。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	農家基本台帳の農家・経営農地の情報は、農地事務の元となるデータであり、事業の有効性は高い。パソコンによるソフトシステムの使用、また、農業委員会補助員の協力により効率性が図られている。農家基本台帳の更新管理と、その情報を基にした耕作証明等各種証明書の発行事務の適正化が図られた。農地台帳の公表に対応したデータチェック、更新作業の迅速化が課題である。また相続未登記の台帳もあるため、確認の事務負担が増加している。		
改善策	今後は、所有者の把握、農地地番の確認を確実にするため、住民基本台帳、固定資産台帳との突合も図りながら、台帳整理を行う。相続登記の義務化も決定しているため、相続の届出に関する周知を行い、事務軽減を目指す。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	農業委員会の根幹をなす農地台帳システムの適正なデータ管理を行うため、農区の代表である農区長(農業委員会補助員)に農家基本台帳の更新にかかる調査の補助を年1回お願いしているが、市内全域における農地の状況を把握することにより、より正確なデータ集積のため、関係機関と連携を図る必要がある。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---